

EPSON®

ELPSP01

日本語

English

Français

Deutsch

Italiano

Español

EPSON



取扱説明書

User's Guide

Guide de l'utilisateur

Bedienungsanleitung

Manuale dell'utente

Manual de instrucciones

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品を安全に正しくお使いいただくために、本マニュアルをよくお読みください。

不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

目次

同梱品の確認	1	低域音量の調節	10
安全にお使いいただくために	2	ローパスフィルタの調節	10
取り扱い上のご注意	5	電源を切る	11
特長	6	故障かなと思ったら	11
各部の名称と働き	6	仕様	12
接続のしかた	7	サポート・サービスのご案内	12
電源を入れる	10		

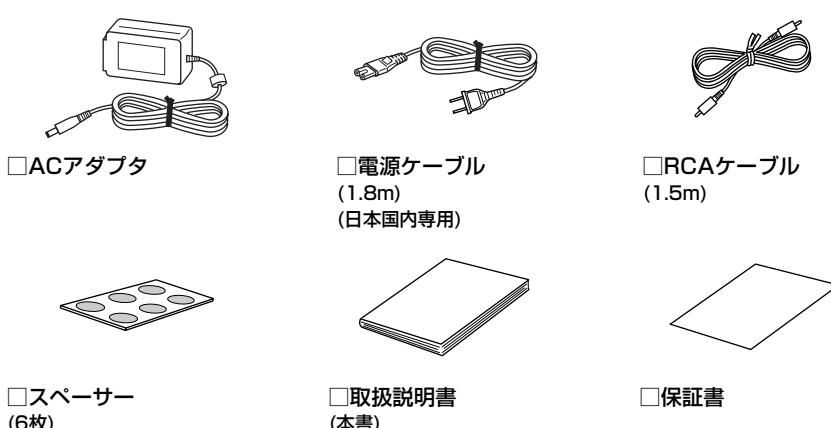
説明書中の表示の意味

	本機の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を示しています。
	関連する情報や知っていると便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。

同梱品の確認

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。万一、不足や不良がございましたら、お手数ですがお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

※お買い上げいただいたときの梱包箱と緩衝材は、本機を輸送する場合に必要となりますので保管願います。



安全にお使いいただくために

■安全に関する表示

本書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の説明

行為を禁止する記号	行為を指示する記号
 禁止	 必ず行うこと
 分解禁止	 電源プラグを抜く
 水場での使用禁止	 接触禁止

■異常・故障時

警告

次のような場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターにご相談ください。

- ・煙が出てる、変な臭い、変な音がする。
- ・本機内部に水や異物が入った。
- ・本機を落としたり、ケースを破損した。



電源プラグを抜く

そのまま使い続けると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。

本機の分解・改造は、絶対にしないでください。

火災・感電・事故の原因となります。



分解禁止

■設置時

**!
警告**

表示されている電源電圧以外の電圧で使用しないでください。

指定以外の電圧を使うと、火災・感電の原因となります。



禁止

ACアダプタや電源ケーブルを使用・取り扱う際は、次の点を守ってください。

誤って使用・取り扱うと、火災・感電の原因となります。

- 添付のACアダプタや電源ケーブル以外のものは使用しない。
- 破損したACアダプタや電源ケーブルは、使用しない。

ACアダプタや電源ケーブルが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはプロ

ジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。

- ACアダプタや電源ケーブルを加工しない。
- ACアダプタや電源ケーブルの上に重いものを載せない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電熱器の近くに配線しない。



必ず行うこと

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所で使用・設置しないでください。

火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

電源プラグ・電源コネクタを取り扱う際は、次の点を守ってください。

誤って取り扱うと、火災・感電の原因となります。

- たこ足配線はしない。

• 電源プラグの刃や刃の付近のホコリを定期的に清掃する。清掃するときは、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でふき取ります。

• 電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込む。

• 濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしない。

• 電源プラグ・電源コネクタを抜くときは、ACアダプタや電源ケーブルを引っ張らない。必ず、プラグやコネクタ本体を持って抜く。



必ず行うこと

**!
注意**

ぐらついた台の上・傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。

倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

小さなお子様のいるご家庭では、特に注意してください。



禁止

ケーブル類は、足などが引っかからないように配線してください。

電源ケーブルやRCAケーブルをケーブルの長さがぎりぎりのところなどに配線すると、足などを引っかけて機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



必ず行うこと

湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たる場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

■使用時

!**警告**

本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。



禁止

本機の開口部から、金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。

火災・感電の原因となります。小さなお子様のいるご家庭では、特に注意してください。



禁止

本機を、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。



禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグにさわらないでください。
感電の原因となります。



接触禁止

!**注意**

本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線をはずしたことを確認してから行ってください。
火災・感電の原因となることがあります。



必ず行うこと

長時間、音が歪んだ状態で使わないでください。
スピーカなどが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

はじめから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因やスピーカーを破損することがあります。電源を入れた後で徐々に上げてください。



禁止

本機を使い終わったら、安全のため、必ずACアダプタや電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化により、火災の原因となることがあります。



必ず行うこと

■お手入れ

!**注意**

お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いて行ってください。

感電の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜く

取り扱い上のご注意

故障や誤動作、破損の原因となりますので、次の注意事項を必ず守ってください。

■取り扱い・保管上の留意点

- 本書指定の使用温度範囲、保管温度範囲を守って使用・保管してください。
- 本機に同梱されているACアダプタ・電源ケーブル以外はご使用にならないでください。
- 同梱品以外をご使用になり、本機が故障した場合、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 振動や衝撃の伝わる場所には設置しないでください。
- 本機を寝かせたり、傾けたりして設置しないでください。
- 本機を設置する際は、付属のスペーサーを使いガタツキがないようにしてください。
- 本機はできるだけ敷物など敷かず、直接床に設置してください。
本機は固い床に設置した際に、最大の性能を発揮するよう設計されております。
- 本機に次のような特殊な信号が加わると、過大電流により故障するおそれがあります。
 - ・ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
 - ・ 電源が入っている状態で、RCAケーブルなどを抜き差ししたときのショック音
 - ・ マイク使用時のハウリング(一般的のアンプ内蔵スピーカ接続時)
 - ・ カラオケなどで使用したときの過大な音声入力(一般的のアンプ内蔵スピーカ接続時)
- テレビやパソコンモニタなどの近くに設置すると雑音を拾うことがあります。
その場合は本機を少し離して設置してください。
- 本機は防磁設計を施していますのが、設置の仕方によっては、テレビやパソコンモニタなどに色むらやひずみが生じる場合があります。その場合は本機を少し離して設置してください。

■音のエチケット

楽しい音楽や映画の音も、ときには周囲の迷惑になります。隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲に良く通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



■お手入れの方法

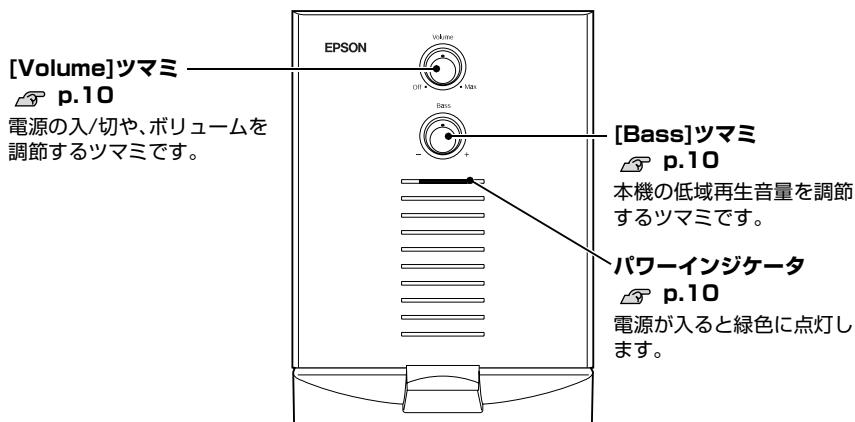
本体の汚れは柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたしてかたくしぶり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

特長

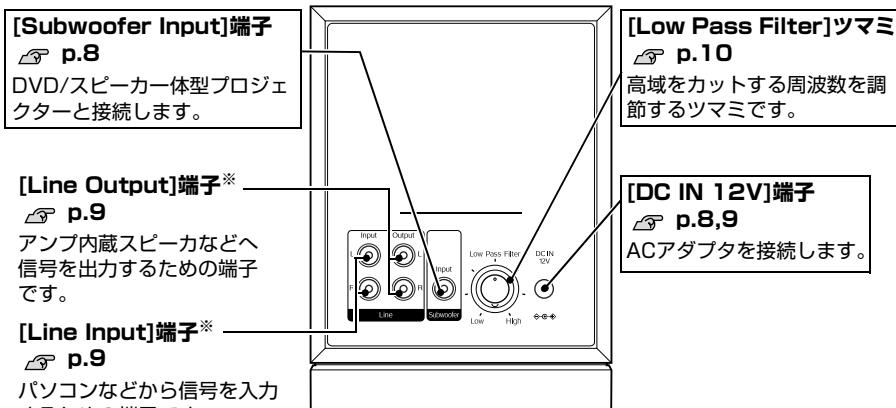
本機は、コンパクトながら低域をリアルに再生します。本機をエプソン製のDVD/スピーカー一体型プロジェクターに接続して、より迫力ある重低音をお楽しみください。

各部の名称と働き

■前面パネル



■背面パネル



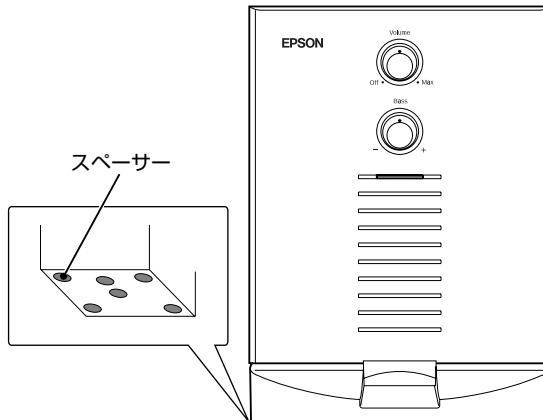
*DVD/スピーカー一体型プロジェクターをお使いの場合は、[Line Input]端子、[Line Output]端子へ接続する必要はありません。

接続のしかた

■接続の前に

同梱のスペーサーを、本機底面の丸いくぼみに貼り付けます。

スペーサーを貼り付けると、ガタツキを抑え、設置面が点接触となるため質の良い低音が得られます。

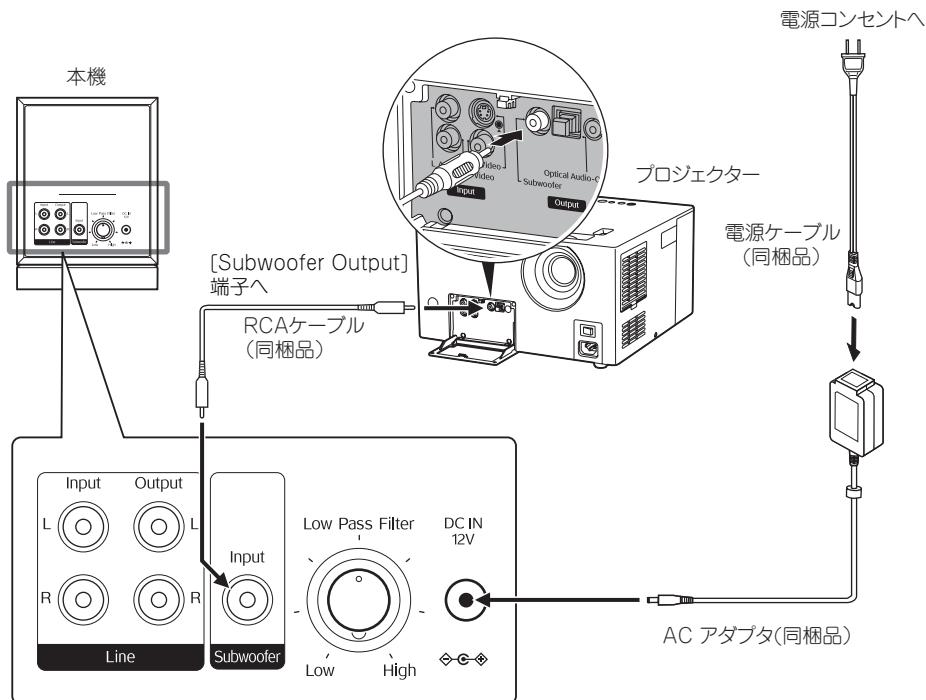


■接続方法

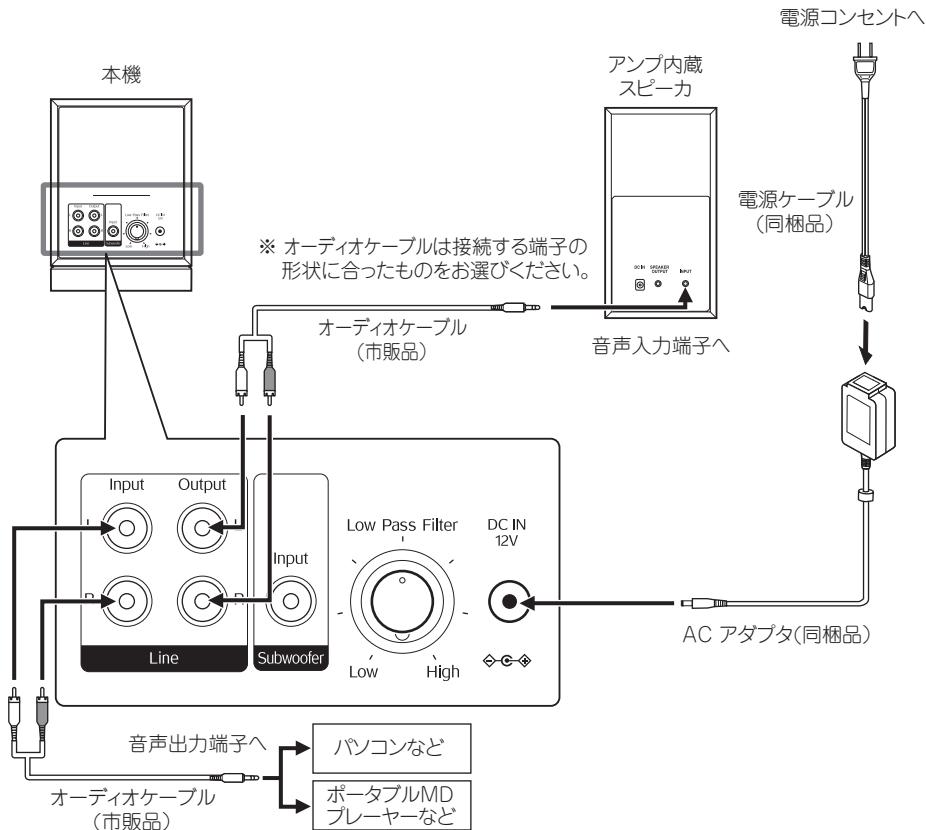
次のことを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込みます。

- すべての接続作業が終了していること。
- [Volume]ツマミを反時計方向に回して「Off」に合わせる。
- [Bass]ツマミを反時計方向に回して「-」に合わせる。

△警告 同梱の専用ACアダプタ、電源ケーブル以外はご使用にならないでください。



一般のアンプ内蔵スピーカと本機を接続する場合



ポイント

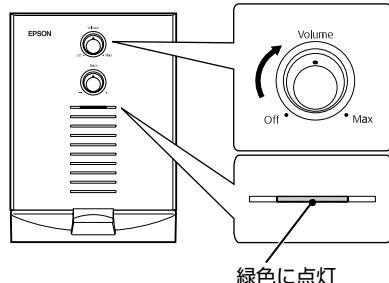
- 前面の [Volume] ツマミを時計方向に回すと、本機、および接続したアンプ内蔵スピーカーの音量レベルも変化します。
- 接続する機器により出力の大きさが異なるため、本機のボリュームを最大位置にしても極端に音量が小さい場合があります。その際、ポータブルプレーヤーなどボリュームがついている機器の場合は、プレーヤー側のボリュームを上げて、適正な入力が本機に入るようにしてください。また、入力側にコンピュータ等を接続する場合は、コンピュータ側から出力される音量を上げることで適正な入力が本機に入るようにしてください。

電源を入れる

1 すべての接続が終了していることを確認後、電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込みます。

2 [Volume] ツマミを時計方向にまわすと、「カチッ」と音がして電源が入ります。

電源が入ると、前面のパワーアンジケータが緑色に点灯します。

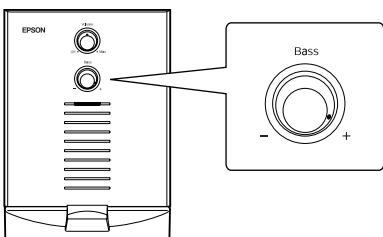


低域音量の調節

[Bass] ツマミを図のように「+」の少し手前に合わせると、適切な音量レベルでお聞きいただけます。

ただし、再生するソースによって音量レベルが違ってきますので、お好みの音量になるように調節してください。

※一般的のアンプ内蔵スピーカーを接続している場合は、その機器に合わせて調節してください。



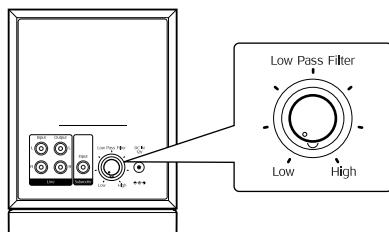
注意

低域を極端にブースト(増強)したり、低域が異常に強調された特殊なソースを再生した場合、本来の信号音以外に異常な音が発生する場合があります。これは、故障ではありませんが、このような状態で長時間使い続けると、スピーカユニット破損の原因となりますので、音量を下げてお使いください。

ローパスフィルタの調節

[Low Pass Filter] ツマミは通常、お買い上げ時の状態(図の位置)のままお使いください。再生周波数が適切に設定され、バランスのよい音質になります。

※一般的のアンプ内蔵スピーカーを接続している場合は、その機器の再生周波数に合わせて調節してください。



電源を切る

- 1** [Bass] ツマミを反時計方向に回して「-」に合わせる。
- 2** [Volume] ツマミを反時計方向に回して「OFF」に合わせる。

故障かなと思ったら

本機が正常に動作しないときは、修理に出す前に下記をご覧になり点検をしてください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店、またはプロジェクトインフォメーションセンター、修理センターにお問い合わせください。(☞ p.14)

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。	A C アダプタまたは電源ケーブルとの差し込みが不完全。	A C アダプタまたは電源ケーブルを抜いて、差し直します。(☞ p.8,9)
サブウーファーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の電源が入っていない。 • RCAケーブルまたはオーディオケーブルが抜けている。 	<ul style="list-style-type: none"> • [Volume] ツマミを回して本機の電源を入れてください。(☞ p.10) • RCAケーブルまたはオーディオケーブルを本機や接続機器から抜いて、差し直します。(☞ p.8,9)
サブウーファーの音が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の[Volume]ツマミ、もしくは[Bass]ツマミの位置が不適当。 • ソースに低音が入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の[Volume]ツマミ、もしくは[Bass]ツマミを適当な位置まで上げてください。(☞ p.6) • 低音の入ったソースでお楽しみください。
ブーンというハム音がする。	<ul style="list-style-type: none"> • RCAケーブルまたはオーディオケーブルの差し込みが不完全。 • 外部のリーケージフラックス(テレビ等からの誘導雑音)。 	<ul style="list-style-type: none"> • RCAケーブルまたはオーディオケーブルを本機や接続機器から抜いて、差し直します。 • 雑音源から離してください。
本機に接続しているアンプ内蔵スピーカから音がない。	<p>本機に接続されるアンプ内蔵スピーカに関して以下の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボリューム位置が最小になっている。 • RCAケーブルまたはオーディオケーブルが外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 適当な位置まで上げてください。(☞ p.6) • RCAケーブルまたはオーディオケーブルを正しく接続してください。(☞ p.8,9)
本機に接続しているアンプ内蔵スピーカの音が小さい。	<p>本機に接続されるアンプ内蔵スピーカに関して以下の原因が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボリューム位置が不適切。 	<ul style="list-style-type: none"> • 適当な位置まで上げてください。(☞ p.6)

仕様

形 式	: アンプ内蔵サブウーファー
再生周波数範囲	: 40 Hz ~ 350 Hz
クロスオーバー周波数	: 90 ~ 170 Hz(可変)
最大出力	: 15 W(JEITA、4Ω)
入力インピーダンス	: 10kΩ以上(Subwoofer) 18kΩ以上(LINE)
入力感度(VOL,MAX時)	: 40mV(Subwoofer) 40mV(LINE L/R入力時) 80mV(LINE 片ch入力時)
使用スピーカ	: 10cmウーファー1本
電 源	: AC100V(60/50Hz)
消費電力	: 17.5 W
使用温度範囲	: +5°C~+35°C(結露しないこと)
保存温度範囲	: -10°C~+50°C(結露しないこと)
外形寸法(W×H×D)	: 124 x 170 x 224(mm)
質 量	: 2kg
その他	: 防磁設計(JEITA)

※定格および外観は、性能改善のため予告なく変更することがあります。

サポート・サービスのご案内

本機に関するご質問・ご相談には、サポート窓口でお応えいたします。それぞれの電話番号・アドレスはp.14をご覧ください。

■保証書

本製品の保証内容は、お買い上げ日より1年間の持ち込み修理の保証となっております。製品に添付の保証書の内容をよくご覧いただき、大切に保管してください。
保証期間中に万一、故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。

■修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったら、本書の「故障かなと思ったら」をご覧いただき、接続や設定に間違いないことをご確認ください。
それでも直らないときは、次の処置を行ってから修理を依頼してください。
ご自分での修理は、大変危険ですので絶対にしないでください。
①本機の電源を切る。
②電源ケーブルのプラグをコンセントから抜き、ACアダプタのプラグを本機から抜く。

ご注意

- (1)本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4)運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(p.14参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6)本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。
- (7)本機は日本国内専用です。

This product is for Japan only.

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。

FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●プロジェクトアインフォメーションセンター 製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

TEL 0570-004110 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那霸市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●ドアドアサービス(修理品有償ピックアップサービス)に関するお問い合わせ先

ドアドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドアドアサービス受付電話 TEL 0570-090-090 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株の電話サービスの名称です。

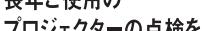
*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州(中国地方を除く)	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)※松本修理センターは365日受付可。

*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諭訪支店で代行いたします。*ドアドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

愛情点検	長年ご使用の プロジェクトアインフォメーションセンター	こんな症状はありませんか？	ご使用中止
		<ul style="list-style-type: none">●電源スイッチを入れても、映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。●変わらぬいがたり、煙が出たり。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。●内部に水や異物が入った。 ●電源コードが傷んだ。	 コンセントから電源プラグを抜いて必ず取扱販売店にご相談ください。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認いただけます。<http://www.i-love-epson.co.jp/square/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F

【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F

【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリントをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社(ホームページアドレス <http://epson-supply.jp>
またはフリーダイヤル0120-251528)でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

71205002

Contents

Checking the Contents of the Package	15	Adjusting the Bass Range Volume	23
Safety Precautions	16	Adjusting the Low Pass Filter	23
Handling Precautions	18	Turning the Power OFF	24
Features	19	Troubleshooting	24
Names and Functions of Parts	19	Specifications	25
Connecting the ELPSP01	20	Customer Support	25
Turning the Power ON	23		

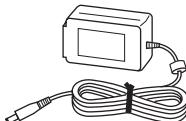
Notations used in this guide

CAUTION	Cautions must be followed to avoid damaging the ELPSP01.
TIP	Tips provide helpful hints on operating instructions and other relevant information.
	Arrows point to page numbers on which related matters or detailed information are given.

Checking the Contents of the Package

Check the following check list to make sure that the package contains all of the following items. If the package does not contain all of the items or items are damaged, contact your store of purchase.

*Keep the packaging box and cushioning materials provided with the package at purchase for future use (e.g. when repacking this product for transportation).



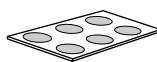
AC adapter



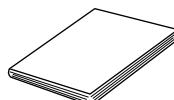
**Power cable
(1.8 m)
(domestic use only)**



**RCA cable
(1.5 m)**



**Foot Stickers
(6 pcs)**



**User's Guide
(this document)**

Safety Precautions

Please read the following important information about your Powered Subwoofer.

■ Important Information

Unplug the product from the wall outlet and refer servicing to qualified service personnel under the following conditions:

- When the power cable or plug is damaged or frayed
- When liquid has spilled into the product, or it has been exposed to rain or water
- When it has been dropped or the housing has been damaged
- When it does not operate normally when you follow the operating instructions, or if it exhibits a distinct change in performance, indicating a need for service
- Never open any covers of the powered subwoofer or attempt to service the product yourself unless otherwise instructed to do so in this manual. Dangerous electrical voltage inside the product can cause severe injury. Refer all servicing to qualified service personnel.
- Keep the plastic bags for the powered subwoofer, accessories and optional parts out of the reach of children. If children cover their heads with these plastic bags, this may result in death by suffocation. Be particularly careful around small children.
- Do not use the powered subwoofer in the country or region other than that you purchased it.

■ Safety Instructions

Follow these safety instructions when setting up and using the powered subwoofer.

- Use the type of power source indicated on the product. If you are not sure of the power available, consult your dealer or local electricity company.
- Site the product near a wall outlet where the plug can be easily unplugged.
- Use only the exclusive AC adapter and power cable included in the package. Do not use other AC adapters and power cables on the ELPSP01.
- Never use a broken AC adapter or power cable. If the AC adapter or the power plug included in the package is damaged (the core wire is exposed or broken), consult the store of purchase.
- Do not modify the AC adapter and the power cable.
- Do not place heavy objects on the AC adapter and the power cable.
- Do not forcibly bend or twist the AC adapter cable and the power cable.
- Do not place or route the AC adapter and the power cable near an electric heater.
- Take the following precautions when handling the AC adapter and the power plug. Failure to comply with these precautions may result in fire or electric shock.
 - Do not insert the plug into a dusty outlet.
 - Do not overload wall outlets, extension cables or multi-socket devices. Doing so may cause fire or electric shock.
 - Insert the plug firmly into the outlet.

- Do not handle the plug with wet hands.
- When unplugging the AC adapter plug and the power plug, do not pull on the power cable. Make sure that you grasp the plug or connector part, then unplug.
- Do not place the product on an unstable cart, stand, or table.
- Do not stand on the product or place heavy objects on it.
- Do not place the product where the cable can be stepped on. Doing so may result in fraying or damage to the plug.
- Never leave the product under high temperature conditions, such as leaving it in a car, subjecting it to direct sunlight, or placing it near the air outlet of a heater or air conditioner. Doing so may deform the product and adversely affect the internal component.
- Do not expose the product to water or place objects containing liquid on the product.
- Never push objects of any kind through cabinet slots. Never spill liquid of any kind into the product.
- During lightning storms, do not touch the power plug, or, if it has been disconnected, do not insert the plug into the wall outlet. Doing so may result in receiving an electric shock.
- Unplug the power cable from the wall outlet when the product is unused for long periods of time.
- Do not use this unit for long periods of time with sound still distorted. Doing so may result in the speaker heating up, resulting in fire.
- Do not set the volume too high from the beginning. A loud sound may be produced suddenly that may damage the speaker or your hearing. As a precaution, lower the volume before you switch off this unit then raise it gradually after you switch it back on.
- When you have finished using this unit, be sure to unplug the plug on the power cable from the power outlet.
- When performing maintenance on this unit, remove the power plug/power connector from the wall outlet. Otherwise, you run the risk of an electric shock.
- Before cleaning, unplug the product from the wall outlet. Use a damp cloth for cleaning. Do not use liquid or aerosol cleaners.

Handling Precautions

Be sure to observe the following precautions. Failure to do so might cause breakdown, malfunction or damage.

■ Handling and Storage Precautions

- **Use and store this product within the operating and storage temperature ranges specified in this document.**
- **Use only the AC adapter and power cable packaged with the ELPSP01.**
If the ELPSP01 breaks down as a result of using an AC adapter and power cable other than the ones packaged with the ELPSP01, this will void the warranty.
- **Do not install the ELPSP01 at sites subject to vibration and shock.**
- **Do not install the ELPSP01 on its side or tilted at an angle.**
- **When installing the ELPSP01, use the foot stickers (provided) to eliminate shakiness.**
- **When installing the ELPSP01, install it directly on the floor. Do not lay anything underneath the ELPSP01.**
The ELPSP01 has been designed so that maximum performance is demonstrated when it is installed on a hard floor.
- **Input of the following special signals to the ELPSP01 may cause an overcurrent, which will result in the ELPSP01 breaking down:**
 - Special CD signal tones for performing audio checks
 - Shock tone produced when the RCA cable, for example, is disconnected and re-connected with the ELPSP01 power ON
 - Howling produced when a microphone is used (when connecting a general powered speaker)
 - Excessive vocal input produced when the ELPSP01 is used for karaoke, for example (when connecting a general powered speaker)
- **The ELPSP01 sometimes picks up noise when it is installed near a TV or PC screen. If this happens, move the ELPSP01 away from the source of the noise.**
- **The ELPSP01 has been designed to be magnet-proof. It may, however, cause discolouring or distortion on TVs or PC screens depending on how it is installed. If this happens, move the ELPSP01 slightly away.**

■ Caring for your ELPSP01

Wipe off any dirt on the ELPSP01 with a soft, dry cloth. In the case of stubborn dirt, moisten a soft, dry cloth with a neutral detergent diluted with water, firmly wring, and wipe lightly. Last of all, wipe with a soft, dry cloth.

Features

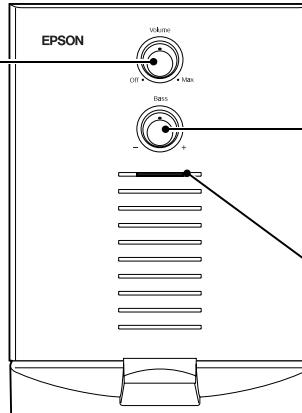
This powered subwoofer plays back bass tones realistically despite its small size.

Names and Functions of Parts

■ Front panel

[Volume] knob
☞ p.23

This knob is for turning the power ON/OFF and for adjusting the volume.



[Bass] knob
☞ p.23

This knob is for adjusting the playback bass volume of the ELPSP01.

Power indicator
☞ p.23

This green indicator lights when the power is ON.

■ Rear panel

[Subwoofer Input] terminals
☞ p.21

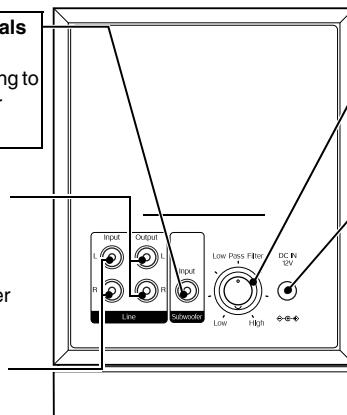
This terminal is for connecting to an integrated DVD/speaker projector.

[Line Output] terminals*
☞ p.22

These terminals are for outputting signals to powered speakers and other equipment.

[Line Input] terminals*
☞ p.22

These terminals are for inputting signals from a PC or other sound source.



[Low Pass Filter] knob
☞ p.23

This knob is for adjusting the point above which frequencies are cut.

[DC IN 12V] terminal
☞ p.21,22

This terminal is for connecting the AC adapter.

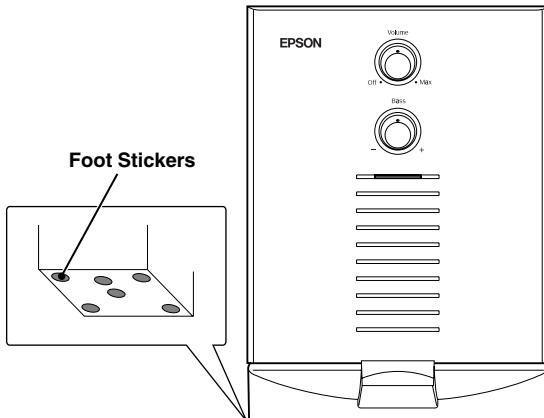
* When using an integrated DVD/speaker projector, connection to the [Line Input] and [Line Output] terminals is not required.

Connecting the ELPSP01

■ Before connections

Attach the foot stickers included in the package to the round depressions in the base of the ELPSP01.

High-quality bass tones can be obtained by using the stickers as they keep the ELPSP01 base from direct contact with the floor to eliminate shakiness.



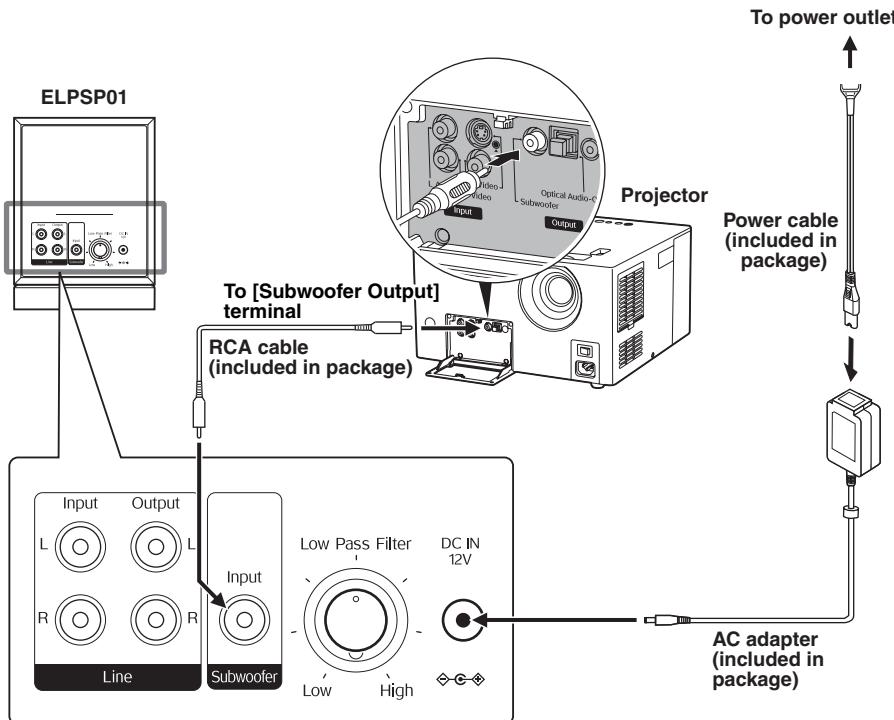
■ Connection methods

Before connecting the power cable to the power outlet, make sure that the following have been performed.

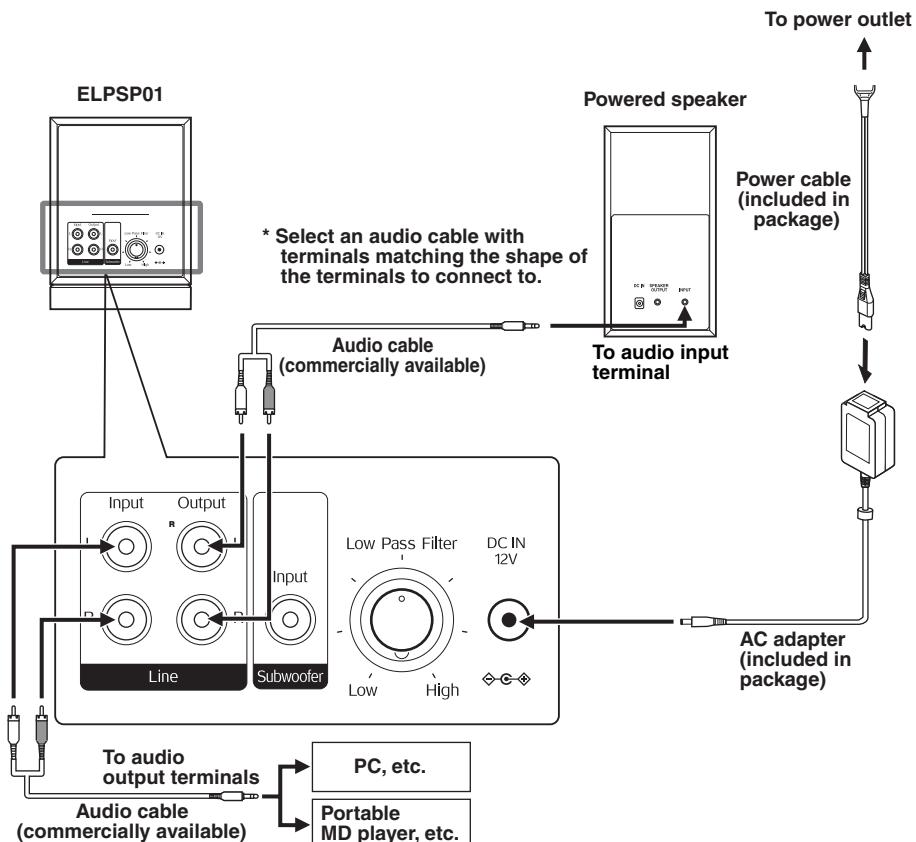
- All connections have been completed.
- Turn the [Volume] knob in the counter clockwise direction to "Off".
- Turn the [Bass] knob in the counter clockwise direction to set it to "-".

⚠ Warning

Use only the exclusive AC adapter and power cable included in the package. Do not use other AC adapters and power cables on the ELPSP01.



Connecting to a general powered speaker

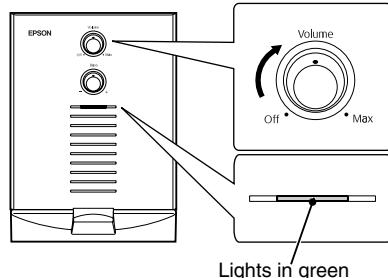


TIP

- Turning the [Volume] knob on the front panel clockwise increases the volume on both the ELPSP01 and connected powered speaker.
- The size of the output differs according to the equipment that the ELPSP01 is connected to. For this reason, the volume is sometimes extremely low even if the [Volume] knob on the front is set to maximum. If this happens, increase the volume on the equipment (e.g. portable MD player) that the ELPSP01 is connected to so that the appropriate signal is input to the ELPSP01. Also, when connecting a PC, for example, as the input source, increase the volume that is output from the PC so that the appropriate signal is input to the ELPSP01.

Turning the Power ON

- 1** After completing all connections, insert the power cable plug into the power outlet.
- 2** When you turn the [Volume] knob, you will hear a crackling sound, indicating that the power is ON. The green power indicator on the front lights when the power is turned ON.

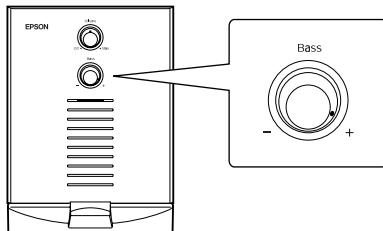


Adjusting the Bass Range Volume

Turn the [Bass] knob to the position near "+" as shown in the figure on the right. This setting is recommended and will provide you with appropriate bass tones.

The volume level, however, differs depending on the sound source to be played. If you are not satisfied with the setting, adjust the knob to your liking.

*When you are connecting the ELPSP01 to a general powered speaker, adjust the knob to match the speaker.

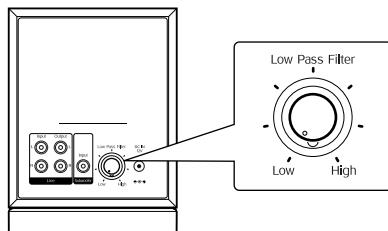

CAUTION

If the bass range is boosted excessively, or a special sound source having an abnormally emphatic bass range is played, abnormal sounds may be generated in addition to the signals that are conventionally generated by the ELPSP01. This is not a malfunction. However, lower the volume as prolonged use in this state might damage the speaker unit.

Adjusting the Low Pass Filter

The default setting of the [Low Pass Filter] knob is as shown in the figure on the right. Keep the setting as it provides an appropriate playback frequency and well-balanced tones.

*When you are connecting the ELPSP01 to a general powered speaker, adjust the knob to match the playback frequency of the speaker.



Turning the Power OFF

- 1 Turn the [Bass] knob counterclockwise to "-".**
- 2 Turn the [Volume] knob counterclockwise to "OFF".**

Troubleshooting

If the ELPSP01 does not work properly, first check the following points before asking for repair. If this does not solve the problem, consult your store of purchase or the nearest address indicated in the User's Guide supplied with the projector.

Trouble	Cause	Action
The power does not turn ON.	The AC adapter or the power cable is not inserted completely.	Disconnect the AC adapter or the power cable and reconnect it properly. (☞ p.21,22)
No sound is output from the subwoofer.	<ul style="list-style-type: none">• The ELPSP01 is not turned ON.• The RCA cable or audio cable is disconnected.	<ul style="list-style-type: none">• Turn the [Volume] knob to turn the ELPSP01 ON. (☞ p.23)• Disconnect the RCA cable or audio cable and reinsert it into the ELPSP01 or the connected device all the way. (☞ p.21,22)
Sound output from the subwoofer is low.	<ul style="list-style-type: none">• The [Volume] knob or [Bass] knob on the ELPSP01 is not at the appropriate position.• The sound source does not contain a bass signal.	<ul style="list-style-type: none">• Turn the [Volume] knob or [Bass] knob on the ELPSP01 to the appropriate position. (☞ p.19)• Play a sound source that contains a bass signal.
A booming, humming sound can be heard.	<ul style="list-style-type: none">• The RCA cable or audio cable is not inserted completely.• Flux (induced noise) is leaking from an external source (e.g. TV).	<ul style="list-style-type: none">• Disconnect the cable and reinsert it into the ELPSP01 or the connected device all the way.• Move the ELPSP01 away from the noise source.
Sound is not output from the powered speaker connected to the ELPSP01.	The following are probable causes related to the powered speaker connected to the ELPSP01: <ul style="list-style-type: none">• The volume is set to minimum.• The RCA cable or audio cable is disconnected.	<ul style="list-style-type: none">• Increase the volume to the appropriate level. (☞ p.19)• Correctly connect the RCA cable or audio cable. (☞ p.21,22)
The sound output from the powered speaker connected to the ELPSP01 is low.	The following is a probable cause related to the powered speaker connected to the ELPSP01: <ul style="list-style-type: none">• The volume is not set to the appropriate position.	<ul style="list-style-type: none">• Increase the volume to the appropriate level. (☞ p.19)

Specifications

Model:	Powered Subwoofer
Playback frequency range:	40 to 350 Hz
Crossover frequency:	90 to 170 Hz (variable)
Max. output:	15 W (4 Ω)
Input impedance:	10 kΩ or more (Subwoofer) 18 kΩ or more (LINE)
Input sensitivity (at max. volume):	40 mV (Subwoofer) 40 mV (at LINE L/R input) 80 mV (at LINE single channel input)
Speaker:	10 cm woofer x 1 pc
Power supply:	100 to 240 VAC (50/60 Hz)
Power consumption:	17.5 W
Operating temperature range:	41 to 95 degrees F (5 to 35 °C) (no condensation)
Storage temperature range:	14 to 140 degrees F (-10 to 60°C) (no condensation)
External dimensions (W x H x D):	124 x 170 x 224 (mm)
Weight:	2 kg
Other:	Magnetic-proof design (MAGNETIC SHIELDING)

* Ratings and external appearance are subject to change without notice in the interest of product improvement.

Customer Support

If you are unclear about anything, first contact the service counter indicated in the User's Guide supplied with the projector.

■ Before you ask for repair

If you are experiencing trouble, read "Troubleshooting" in this User's Guide, and check the connections and setup for any problems.

If this does not remedy the trouble, perform the following and then ask for repair.

Never repair the product yourself. This is very dangerous.

(1) Turn the product off.

(2) Unplug the plug on the power cable from the outlet, and disconnect the AC adapter connection terminal from the product.

All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of SEIKO EPSON CORPORATION. No patent liability is assumed with respect to the use of the information contained herein. Neither is any liability assumed for damages resulting from the use of the information contained herein.

Neither SEIKO EPSON CORPORATION nor its affiliates shall be liable to the purchaser of this product or third parties for damages, losses, costs, or expenses incurred by purchaser or third parties as a result of: accident, misuse, or abuse of this product or unauthorised modifications, repairs, or alterations to this product, or (excluding the U.S.) failure to strictly comply with SEIKO EPSON CORPORATION's operating and maintenance instructions.

SEIKO EPSON CORPORATION shall not be liable against any damages or problems arising from the use of any options or any consumable products other than those designated as Original EPSON Products or EPSON Approved Products by SEIKO EPSON CORPORATION.

Table des matières

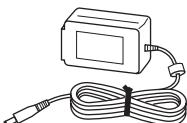
Déballage de l'ELPSP01	27	Mise sous tension de l'appareil	35
Consignes de sécurité	28	Régler le volume des graves ...	35
Précautions à prendre.....	30	Régler le filtre passe-bas.....	35
Caractéristiques.....	31	Mise hors tension de l'appareil.....	36
Nom et fonction des divers éléments	31	Dépannage	36
Branchement de l'ELPSP01	32	Fiche technique	37
		Service après-vente	37

Notations utilisées dans ce guide

	Vous devez prendre certaines précautions pour éviter d'endommager l'ELPSP01.
	Indications utiles concernant les instructions d'utilisation et autres informations.
	Les flèches vous renvoient aux pages consacrées à des sujets apparentés ou contenant des informations supplémentaires sur le sujet traité.

Déballage de l'ELPSP01

Lors du déballage de l'ELPSP01, assurez-vous qu'il contient bien tous ces éléments. Si un article manque ou ne correspond pas, veuillez-vous adresser à l'établissement d'achat.
*Conservez la boîte d'emballage et les cales fournis avec l'ELPSP01 au moment de l'achat en prévision d'une utilisation ultérieure (par exemple pour remballer l'appareil si vous devez le transporter).



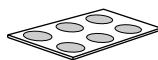
Adaptateur secteur



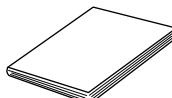
Cordon secteur
(1,8 m)
(usage intérieur uniquement)



Câble RCA
(1,5 m)



Autocollants pour les pieds (x 6)



Guide de l'utilisateur
(le présent document)

Consignes de sécurité

Veuillez prendre connaissance des informations importantes ci-dessous au sujet de votre caisson de basse alimenté.

■ Informations importantes

Débranchez le caisson de basse alimenté de la prise murale et confiez l'entretien à du personnel qualifié dans les cas suivants :

- Lorsque le cordon d'alimentation ou la fiche est endommagé ou dénudé.
- Si du liquide a été renversé sur le caisson de basse alimenté ou s'il a été exposé à la pluie ou à l'eau.
- En cas de chute du caisson de basse alimenté ou si le coffret a été endommagé.
- Si le caisson de basse alimenté ne fonctionne pas normalement malgré le respect des instructions d'utilisation ou si vous remarquez une détérioration manifeste des performances dénotant un besoin d'entretien.
- N'ouvrez jamais aucun couvercle du caisson de basse alimenté et n'essayez pas de procéder vous-même à l'entretien, sauf instructions contraires dans ce manuel. Des tensions électriques dangereuses présentes à l'intérieur du caisson de basse alimenté peuvent occasionner des lésions graves. Confiez l'entretien de l'appareil à du personnel qualifié.
- Ne laissez pas les sachets en plastique du caisson de basse alimenté, des accessoires et des options à la portée des enfants. Ces derniers pourraient y mettre la tête et mourir étouffés. Soyez particulièrement vigilants avec les enfants en bas âge.
- N'utilisez pas le caisson de basse alimenté dans un pays ou une région autre que le pays ou la région d'achat du caisson de basse.

■ Sécurité

Respectez les consignes de sécurité suivantes lors du réglage et de l'utilisation du caisson de basse alimenté :

- Utilisez le type d'alimentation électrique indiqué sur le caisson de basse alimenté. Si vous n'êtes pas sûr de vous, prenez contact avec votre fournisseur ou la compagnie d'électricité.
- Placez le caisson de basse alimenté près d'une prise murale où la fiche peut être débranchée facilement.
- Utilisez uniquement le cordon et l'adaptateur secteur fournis avec le caisson de basse alimenté. N'utilisez aucun autre adaptateur ou cordon secteur sur le modèle ELPSP01.
- N'utilisez jamais un adaptateur ou un cordon secteur endommagé. Si l'adaptateur secteur ou la fiche fourni avec le caisson de basse alimenté est endommagé (les fils sont dénudés ou cassés), prenez contact avec votre fournisseur.
- Ne modifiez pas l'adaptateur secteur ni le cordon secteur.
- Ne posez aucun objet lourd sur l'adaptateur secteur ni sur le cordon secteur.
- Ne pliez pas et ne tordez pas avec force le câble de l'adaptateur secteur ni le cordon secteur.

- Ne placez pas et ne faites pas passer l'adaptateur ni le cordon secteur près d'un radiateur électrique.
- Prenez les précautions suivantes en manipulant l'adaptateur secteur et la fiche afin d'éviter les risques d'incendie ou d'électrocution.
 - N'insérez jamais une fiche dans une prise couverte de poussière.
 - Ne surchargez pas les prises murales, les prolongateurs ou les blocs multiprises afin d'éviter les risques de décharges électriques ou d'incendie.
 - Insérez fermement la fiche dans la prise murale.
 - Ne saisissez pas la fiche avec des mains humides.
 - Lorsque vous débranchez l'adaptateur secteur et la fiche, ne tirez pas sur le cordon d'alimentation. Saisissez la fiche ou le connecteur et débranchez-les.
- Ne posez pas le caisson de basse alimenté sur un chariot, un support ou un plateau instable.
- Ne marchez pas sur le caisson de basse alimenté et ne posez pas d'objets lourds dessus.
- Ne placez pas le caisson de basse alimenté à un endroit où quelqu'un risque de marcher sur le fil. La fiche risquerait d'être dénudée ou endommagée.
- N'exposez pas le caisson de basse alimenté à de fortes températures, par exemple en le laissant dans une voiture, en l'exposant directement aux rayons du soleil ou en le plaçant près d'un radiateur ou de l'air conditionné. Cela risquerait de déformer l'appareil et d'endommager les composants internes.
- N'exposez pas le caisson de basse alimenté à l'eau et ne posez dessus aucun objet contenant un liquide.
- N'introduisez jamais d'objets, quels qu'ils soient, par les grilles du coffret. Ne renversez jamais de liquide dans le caisson de basse alimenté.
- Pendant un orage, veillez à ne pas toucher le cordon secteur et, s'il a été débranché, n'insérez pas la fiche dans la prise de courant, et ce, afin d'éviter tout risque d'électrocution.
- Débranchez le cordon secteur de la prise murale lorsque vous n'utilisez pas le caisson de basse alimenté pendant une longue période.
- N'utilisez pas le caisson de basse alimenté pendant de longues périodes si le son est déformé. L'enceinte risquerait de chauffer et de provoquer un incendie.
- Ne montez pas le volume trop haut dès le départ. Un son très fort peut surgir soudainement, risquant d'endommager l'enceinte ainsi que votre audition. Pensez à baisser le volume avant d'éteindre l'appareil, puis montez-le graduellement lorsque vous le rallumez.
- Quand vous avez terminé d'utiliser le caisson de basse alimenté, débranchez la fiche du cordon secteur de la prise murale.
- Lorsque vous procédez à l'entretien du caisson de basse alimenté, débranchez la fiche/le connecteur de la prise murale. Autrement vous risquez d'être électrocuté.
- Débranchez le caisson de basse alimenté de la prise murale avant tout nettoyage. Utilisez un chiffon humide. N'utilisez pas de liquides nettoyants ni d'aérosols.

Précautions à prendre

Veillez à observer les précautions suivantes afin d'éviter les risques de panne, de dysfonctionnement ou de dommage.

■ Précautions d'utilisation et de stockage

- Utilisez et entreposez l'appareil en respectant les températures de fonctionnement et de stockage spécifiées dans ce manuel.
- Utilisez uniquement l'adaptateur et le cordon secteur fournis avec l'ELPSP01.

Si l'ELPSP01 tombe en panne suite à l'utilisation d'un adaptateur ou d'un cordon secteur autre que ceux fournis avec l'appareil, cela annulera la garantie.

- N'installez pas l'ELPSP01 à un endroit soumis aux vibrations et aux chocs.
- N'installez pas l'ELPSP01 en le posant sur le côté ou sur un angle.
- Lors de l'installation de l'ELPSP01, utilisez les autocollants (fournis) pour éviter les tremblements.
- Lors de l'installation, posez l'ELPSP01 directement sur le sol. Ne mettez rien dessous.

L'ELPSP01 a été conçu de façon à ce que ses performances soient optimales lorsqu'il est installé sur une surface dure.

- La réception des signaux spéciaux suivants peut entraîner une surintensité, provoquant la panne de l'appareil :
 - Sonorités spéciales des signaux de CD dans le cadre de vérifications audio
 - Son généré lorsque le câble RCA, par exemple, est débranché et rebranché alors que l'ELPSP01 est en position ON
 - Hurlement causé par l'utilisation d'un microphone (en cas de connexion avec une enceinte active générale)
 - Signaux vocaux excessifs lorsque l'ELPSP01 est utilisé en karaoké, par exemple (en cas de connexion avec une enceinte active générale)
- L'ELPSP01 capte parfois du bruit lorsqu'il est installé près d'un poste de télévision ou d'un écran de PC. Dans ce cas, éloignez l'ELPSP01 de la source du bruit.
- L'ELPSP01 possède un blindage magnétique. Il peut toutefois provoquer un changement de couleur ou une distorsion des écrans de télévision ou de PC selon la manière dont il est installé. Dans ce cas, déplacez légèrement l'ELPSP01.

■ Entretien de l'ELPSP01

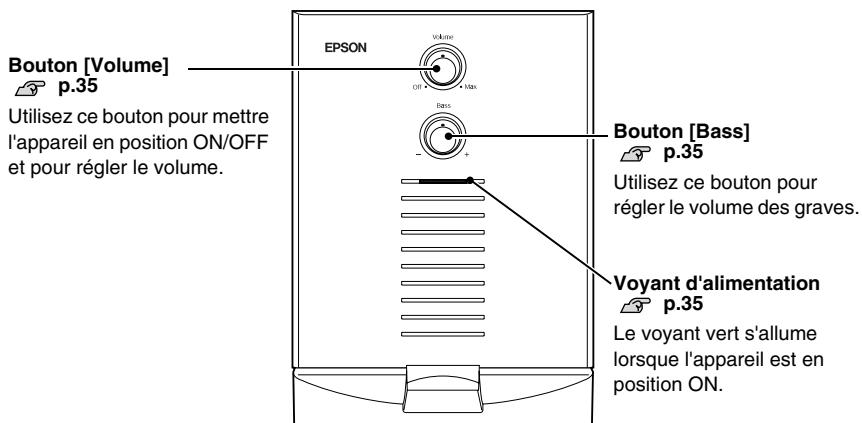
Essuyez la poussière sur l'ELPSP01 à l'aide d'un chiffon doux et sec. Si la saleté persiste, mouillez un chiffon doux avec un détergent neutre dilué dans l'eau, essorez vigoureusement puis essuyez doucement. Enfin, passez un chiffon doux et sec.

Caractéristiques

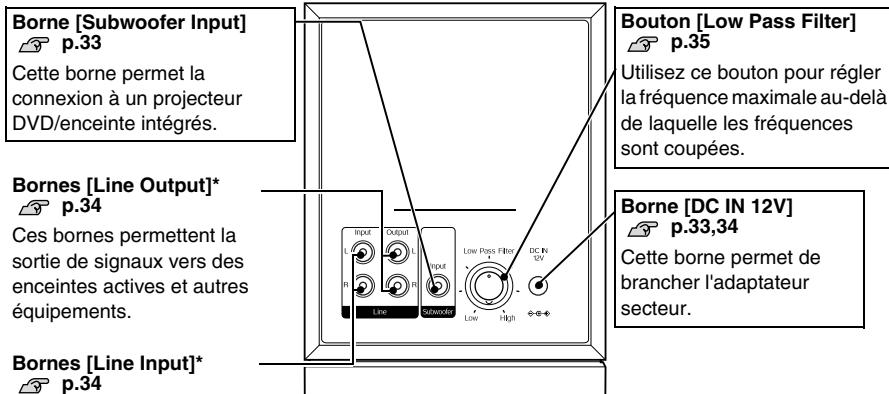
Ce caisson de basse alimenté diffuse les graves de manière réaliste malgré sa petite taille.

Nom et fonction des divers éléments

■ Façade



■ Dos



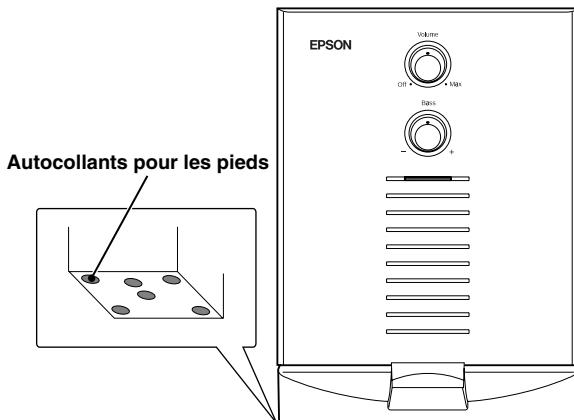
* Si vous utilisez un projecteur DVD/enceinte intégrés, vous n'avez pas besoin de connecter les bornes [Line Input] et [Line Output].

Branchement de l'ELPSP01

■ Avant de brancher l'ELPSP01

Collez les autocollants fournis avec l'appareil dans les zones circulaires à la base de l'ELPSP01.

L'utilisation des autocollants permet d'obtenir un son grave de grande qualité car ils éliminent les tremblements en empêchant le contact direct de l'ELPSP01 avec le sol.



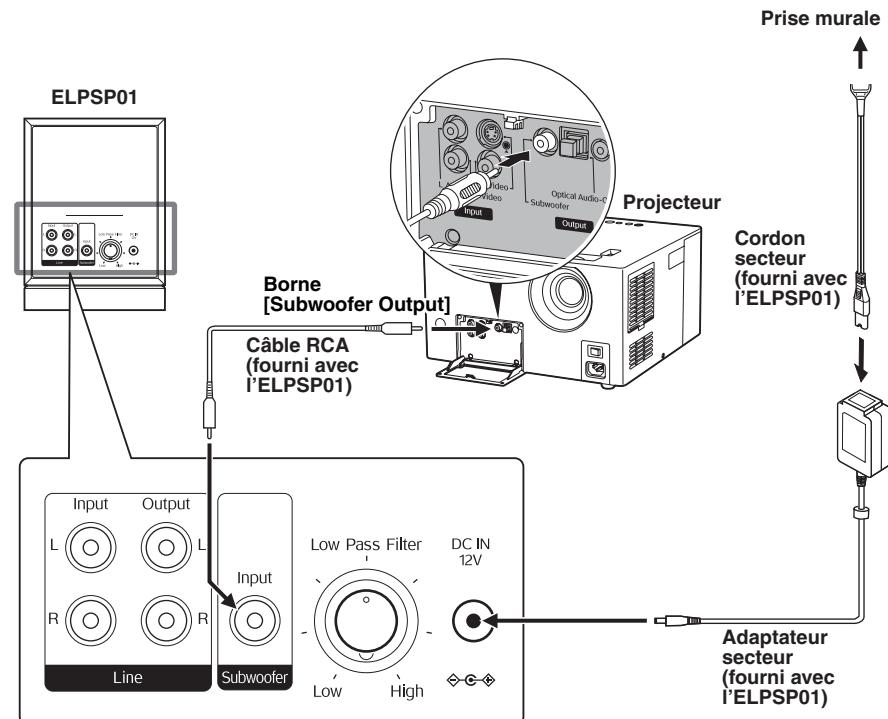
■ Procédures de raccordement

Avant de brancher le cordon secteur dans la prise de courant, vérifiez les points suivants.

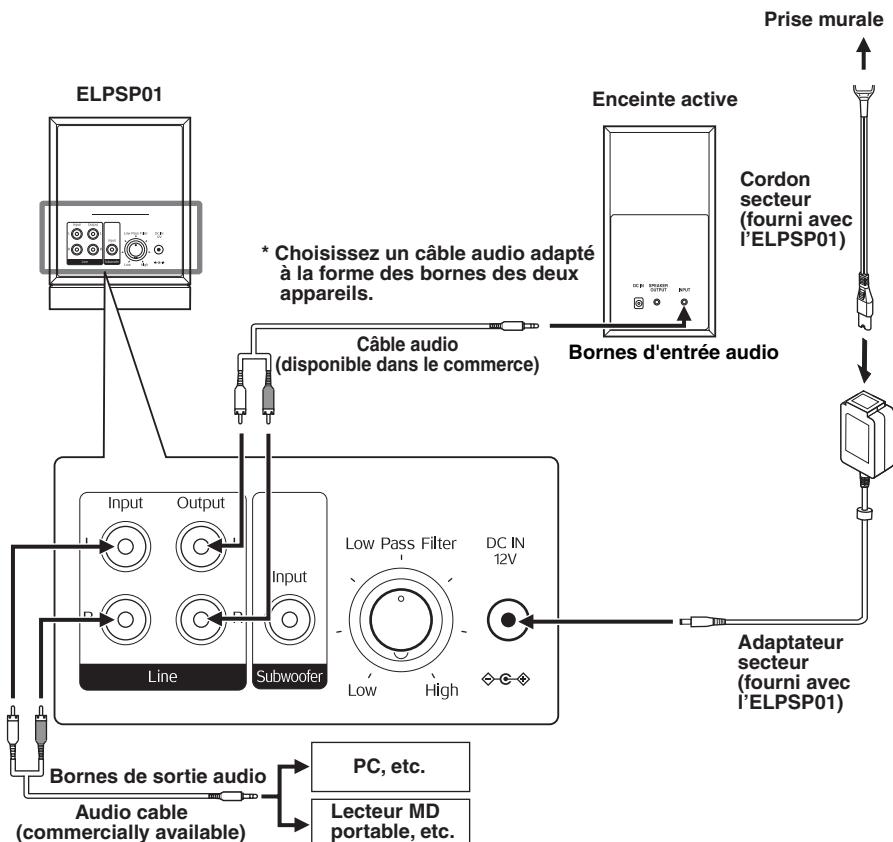
- Tous les appareils sont connectés.
- Tournez le bouton [Volume] dans le sens inverse des aiguilles d'une montre jusqu'à ce qu'il soit sur la position "Off".
- Tournez le bouton [Bass] dans le sens inverse des aiguilles d'une montre jusqu'à ce qu'il soit sur "-".

⚠ Avertissement

Utilisez uniquement le cordon et l'adaptateur secteur fournis avec l'ELPSP01. N'utilisez aucun autre adaptateur ou cordon secteur sur l'appareil.



Raccordement à une enceinte active générale

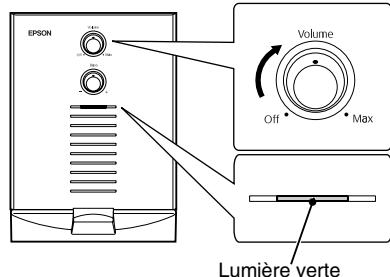


N.B.

- Si vous tournez le bouton [Volume] dans le sens des aiguilles d'une montre, le volume augmente à la fois sur l'ELPSP01 et sur l'enceinte active.
- La puissance de sortie varie en fonction de l'équipement auquel l'ELPSP01 est raccordé. En conséquence, le volume peut être très bas même si le bouton [Volume] est tourné au maximum. Dans ce cas, augmentez le volume sur les autres équipements (par exemple le lecteur MD portable) de façon à ce qu'un signal approprié soit transmis à l'ELPSP01. Par ailleurs, si l'ELPSP01 est relié à un PC, par exemple, comme source audio, augmentez le volume à la sortie du PC de façon à ce qu'un signal approprié soit transmis à l'ELPSP01.

Mise sous tension de l'appareil

- 1 Une fois tous les raccordements effectués, insérez la fiche du cordon secteur dans la prise murale.**
- 2 Lorsque vous tournez le bouton [Volume], vous entendrez un crépitement qui vous indiquera que l'appareil est sur la position ON. Le voyant d'alimentation vert situé sur le devant s'allume lorsque l'appareil est en position ON.**

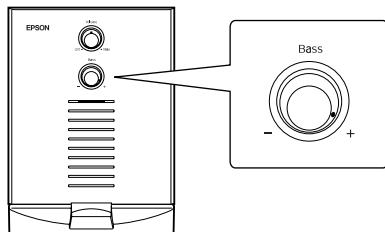


Régler le volume des graves

Tournez le bouton [Bass] jusqu'à une position proche du "+" comme indiqué sur le schéma de droite. Ce réglage est recommandé pour une émission appropriée des graves.

Toutefois, le niveau du volume varie en fonction de la source audio. Si vous n'êtes pas satisfait par ce réglage, réglez le bouton selon vos préférences.

*Si vous raccordez l'ELPSP01 à une enceinte active générale, adaptez le volume en fonction de l'enceinte.



Attention

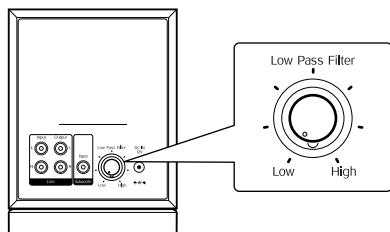
Si les graves sont trop forts, ou si une source audio spéciale avec des graves anormalement importants est utilisée, des sons étranges peuvent être générés en plus des signaux normalement émis par l'ELPSP01. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement. Toutefois, baissez le volume car une utilisation prolongée de l'appareil dans cet état risquerait d'endommager le système d'enceintes.

Régler le filtre passe-bas

Le schéma de droite montre le réglage par défaut du bouton [Low Pass Filter].

Conservez ce réglage car il génère une fréquence appropriée et produit un son bien équilibré.

*Si vous raccordez l'ELPSP01 à une enceinte active générale, ajustez le bouton en fonction de la fréquence de lecture de l'enceinte.



Mise hors tension de l'appareil

- 1** Tournez le bouton [Bass] dans le sens inverse des aiguilles d'une montre jusqu'au "-".
- 2** Tournez le bouton [Volume] dans le sens inverse des aiguilles d'une montre jusqu'à la position "OFF".

Dépannage

Si l'ELPSP01 ne fonctionne pas correctement, vérifiez d'abord les points suivants avant de contacter le service après-vente. Si cela ne suffit pas à résoudre le problème, contactez votre fournisseur ou le représentant le plus proche indiqué dans le Guide de l'utilisateur fourni avec le projecteur.

Problème	Cause	Solution
L'appareil ne s'allume pas.	L'adaptateur ou le cordon secteur n'est pas complètement inséré.	Débranchez l'adaptateur ou le cordon secteur puis rebranchez-le correctement. (☞ p.33,34)
Aucun son ne sort du caisson de basse.	<ul style="list-style-type: none">• L'ELPSP01 n'est pas sur la position ON.• Le câble RCA ou le câble audio est débranché.	<ul style="list-style-type: none">• Tournez le bouton [Volume] pour mettre l'ELPSP01 sur la position ON. (☞ p.35)• Débranchez le câble RCA ou le câble audio puis réinsérez-le correctement dans l'ELPSP01 ou l'appareil connecté. (☞ p.33,34)
Le son qui sort du caisson de basse est faible.	<ul style="list-style-type: none">• Le bouton [Volume] ou [Bass] de l'ELPSP01 n'est pas réglé sur la bonne position.• La source audio ne contient pas de signal de basse.	<ul style="list-style-type: none">• Réglez le bouton [Volume] ou [Bass] de l'ELPSP01 sur la position appropriée. (☞ p.31)• Utilisez une source audio contenant un signal de basse.
Vous entendez un bourdonnement.	<ul style="list-style-type: none">• Le câble RCA ou le câble audio n'est pas complètement inséré.• Un flux (bruit induit) provient d'une source extérieure (comme la télévision).	<ul style="list-style-type: none">• Débranchez le câble puis réinsérez-le correctement dans l'ELPSP01 ou l'appareil connecté.• Éloignez l'ELPSP01 de la source du bruit.
Aucun son ne sort de l'enceinte active connectée à l'ELPSP01.	Causes probables liées à l'enceinte active connectée à l'ELPSP01 : <ul style="list-style-type: none">• Le volume est au minimum.• Le câble RCA ou le câble audio est débranché.	<ul style="list-style-type: none">• Augmentez le volume jusqu'au niveau approprié. (☞ p.31)• Branchez correctement le câble RCA ou le câble audio. (☞ p.33,34)
Le son qui sort de l'enceinte active connectée à l'ELPSP01 est faible.	Cause probable liée à l'enceinte active connectée à l'ELPSP01 : <ul style="list-style-type: none">• Le volume n'est pas réglé sur la bonne position.	<ul style="list-style-type: none">• Augmentez le volume jusqu'au niveau appro prié. (☞ p.31)

Fiche technique

Modèle :	Caisson de basse alimenté
Bandé de lecture :	40 à 350 Hz
Fréquence de transfert :	90 à 170 Hz (variable)
Puissance de sortie max. :	15 W (4 U)
Impédance d'entrée :	10 kΩ ou plus (caisson de basse) 18 kΩ ou plus (LINE)
Sensibilité d'entrée (volume max.) :	40 mV (caisson de basse) 40 mV (entrée L/R LINE) 80 mV (entrée canal unique LINE)
Enceinte :	woofer de 10 cm x 1
Alimentation :	100 à 240 V AC (50/60 Hz)
Consommation :	17,5 W
Température de fonctionnement :	5 à 35°C (pas de condensation)
Température de stockage :	-10 à 60°C (pas de condensation)
Dimensions extérieures	
(largeur x hauteur x profondeur) :	124 x 170 x 224 (mm)
Poids :	2 kg

* Les caractéristiques et l'apparence extérieure de l'appareil sont susceptibles d'être modifiées sans avis préalable en vue de l'amélioration du produit.

Service après-vente

Si vous n'êtes pas sûr de vous, adressez-vous d'abord au service indiqué dans le Guide de l'utilisateur fourni avec le projecteur.

■ Avant de consulter le service après-vente

Si vous rencontrez un problème, reportez-vous à la section "Dépannage" dans le Guide de l'utilisateur et vérifiez les connexions et la configuration de l'appareil.

Si cela ne suffit pas pour résoudre le problème, suivez la procédure suivante puis contactez le service après-vente pour une réparation.

Ne procédez jamais à la réparation vous-même. Cela est très dangereux.

(1) Mettez l'appareil hors tension.

(2) Débranchez le cordon secteur de la prise murale puis déconnectez la borne de raccordement à l'adaptateur secteur sur l'ELPSP01.

Tous droits réservés. Aucune partie de ce manuel ne peut être reproduite, stockée dans un système documentaire ou transmise sous quelque forme ou de quelque manière que ce soit, électronique, mécanique, par photocopie, enregistrement ou autre, sans l'accord préalable écrit de SEIKO EPSON CORPORATION. Aucune responsabilité vis-à-vis d'un brevet n'est assumée en ce qui concerne l'utilisation des informations contenues dans ce guide. De même, aucune responsabilité n'est assumée pour des dommages éventuels résultant de l'utilisation des informations contenues dans ce guide.

Ni SEIKO EPSON CORPORATION ni ses filiales ne pourront être tenues responsables envers l'acquéreur de ce produit ou envers des tiers, des dommages, pertes, frais ou dépenses encourus par l'acquéreur ou les tiers à la suite des événements suivants : accident, mauvaise utilisation ou abus de ce produit, modifications, réparations ou altérations illicites de ce produit ou (sauf aux États-Unis) non respect au sens strict des consignes d'utilisation et de maintenance de SEIKO EPSON CORPORATION.

SEIKO EPSON CORPORATION ne pourra être tenue responsable des dommages ou problèmes survenus par suite de l'utilisation de produits optionnels ou consommables autres que ceux désignés par SEIKO EPSON CORPORATION comme étant des Produits d'origine EPSON ou des Produits approuvés par EPSON.

Inhalt

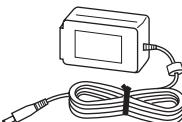
Auspicken des aktiven Subwoofers	39	Einschalten des Netzstroms....	47
Sicherheitsanweisungen.....	40	Einstellen der Baßbereichlautstärke.....	47
Vorsichtsmaßnahmen für die Handhabung	42	Einstellen des Tiefpaßfilters	48
Funktionsmerkmale.....	43	Ausschalten des Netzstroms ..	48
Namen und Funktionen der Geräteteile	43	Fehlersuche	49
Anschließen des ELPSP01	44	Technische Daten	50
		Kundensupport.....	50

In diesem Handbuch verwendete Bezeichnungen

Achtung	Um eine Beschädigung des ELPSP01 zu vermeiden, müssen die Warnhinweise beachtet werden.
 Tipp	Tips stellen hilfreiche Hinweise zu Betriebsanleitungen und anderen relevanten Informationen bereit.
	Pfeile verweisen auf Seitennummern, unter denen verwandte Themen oder detaillierte Informationen zu finden sind.

Auspicken des aktiven Subwoofers

Prüfen Sie beim Auspacken des aktiven Subwoofers, ob alle Teile vorhanden sind. Wenden Sie sich bei einem Fehler oder falls Teile fehlen an den zuständigen Händler. *Bewahren Sie das Paket und das mitgelieferte Verpackungsmaterial zur zukünftigen Verwendung auf (zum Beispiel zum Verpacken des Produkts vor seinem Transport).



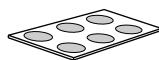
Netzteil



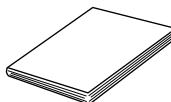
Netzkabel (1,8 m)
(nur für den Gebrauch in Wohnbereichen)



RCA-Kabel (1,5 m)



Selbstklebende Stellfüße (6 Stck.)



Bedienungsanleitung (dieses Dokument)

Sicherheitsanweisungen

Lesen Sie bitte die folgenden wichtigen Hinweise zu Ihrem aktiven Subwoofer.

■ Wichtige Hinweise

Ziehen Sie den Stecker des aktiven Subwoofers unverzüglich heraus und bringen Sie das Gerät vor dem weiterem Gebrauch zu einem qualifizierten Servicetechniker, wenn folgende Situationen auftreten:

- Wenn das Netzkabel beschädigt oder durchgescheuert ist.
- Wenn Flüssigkeit in den aktiven Subwoofer gelaufen ist oder dieser Regen oder Wasser ausgesetzt war.
- Wenn der aktive Subwoofer heruntergefallen ist oder das Gehäuse beschädigt wurde.
- Wenn sich der aktive Subwoofer nicht wie in der Anleitung beschrieben bedienen läßt oder wenn er offensichtlich nicht mehr so funktioniert wie vorher.
- Öffnen Sie keine Abdeckungen am aktiven Subwoofer und versuchen Sie nicht, den aktiven Subwoofer selbst zu reparieren, sofern Sie in diesem Handbuch nicht spezifisch dazu aufgefordert werden. Innerhalb des Projektors liegen elektrische Hochspannungen vor, die Sie ernsthaft verletzen können. Lassen Sie alle Wartungsarbeiten von qualifiziertem Wartungspersonal ausführen.
- Bewahren Sie die Plastiktüten, in denen der aktive Subwoofer, das Zubehör und zusätzliche Teile verpackt sind, so auf, daß Kinder sie nicht erreichen können. Wenn Kinder sich Plastiktüten über den Kopf stülpen, können sie daran ersticken. Seien Sie besonders bei der Anwesenheit von Kleinkindern vorsichtig.
- Verwenden Sie den aktiven Subwoofer nicht in einem anderen Land oder einer anderen Region, als in dem bzw. in der Sie ihn gekauft haben.

■ Sicherheitsanweisungen

Beachten Sie beim Aufstellen des aktiven Subwoofers folgende Sicherheitsanweisungen:

- Achten Sie darauf, daß die Netzanschlußwerte mit den Angaben auf dem aktiven Subwoofer übereinstimmen. Falls Sie sich über die Netzspannung nicht sicher sind, erkundigen Sie sich bei Ihrem Fachhändler oder beim zuständigen Energieversorgungsunternehmen.
- Stellen Sie den aktiven Subwoofer in der Nähe einer Wandsteckdose auf, aus welcher der Netzstecker problemlos herausgezogen werden kann.
- Verwenden Sie ausschließlich das mitgelieferte Netzteil und Netzkabel. Verwenden Sie keine anderen Netzteile und Netzkabel am ELPSP01.
- Verwenden Sie niemals ein beschädigtes Netzteil oder Netzkabel. Wenden Sie sich an den Händler, bei dem Sie den aktiven Subwoofer gekauft haben, falls das mitgelieferte Netzteil oder Netzkabel beschädigt ist (wenn die Kabellitzen freiliegen oder durchtrennt sind).
- Nehmen Sie keine Änderungen am Netzteil oder Netzkabel vor.
- Stellen Sie keine schweren Gegenstände auf das Netzteil oder Netzkabel.
- Biegen oder drehen Sie das Netzteil- oder Netzkabel nicht gewaltsam.
- Plazieren bzw. verlegen Sie das Netzteil bzw. das Netzkabel nicht in der Nähe elektrischer Heizkörper.

- Bei der Handhabung des Netzteils und Netzkabels müssen die folgenden Vorsichtsmaßnahmen eingehalten werden. Bei Nichtbeachtung der Vorsichtsmaßnahmen besteht Brand- oder Stromschlaggefahr.
 - Stecker und Steckdose müssen vor dem Einsticken staubfrei sein.
 - Achten Sie darauf, daß die Steckdosen, Verlängerungskabel und Verteiler nicht überlastet werden, da andernfalls Brand- oder Stromschlaggefahr besteht.
 - Stecken Sie den Stecker fest und sicher in die Steckdose.
 - Fassen Sie den Stecker niemals mit nassen Händen an.
 - Ziehen Sie beim Abziehen des Netzteilsteckers und des Netzkabelsteckers nicht am Netzkabel. Achten Sie darauf, daß Sie zum Abziehen des Kabels den Stecker bzw. den Anschluß anfassen.
- Stellen Sie den aktiven Subwoofer nicht auf einen schwankenden oder unsicheren Rollwagen, Ständer oder Tisch.
- Stehen Sie nicht auf dem aktiven Subwoofer und stellen Sie keine schweren Gegenstände auf ihn.
- Stellen Sie den aktiven Subwoofer so auf, daß niemand auf das Kabel treten kann. Kabel und Stecker können dadurch beschädigt werden.
- Setzen Sie den aktiven Subwoofer keinen hohen Temperaturen aus. Lassen Sie ihn zum Beispiel nicht in einem Fahrzeug, setzen Sie ihn keinem direkten Sonnenlicht aus und plazieren Sie ihn nicht in der Nähe des Luftauslasses eines Heizkörpers oder einer Klimaanlage, da andernfalls das Gerät deformiert werden kann oder interne Komponenten beschädigt werden können.
- Setzen Sie den aktiven Subwoofer keinem Wasser aus und stellen Sie keine Gegenstände, die Wasser enthalten, auf ihn.
- Stecken Sie niemals irgendwelche Gegenstände durch die Gehäuseöffnungen. Achten Sie auch darauf, daß keine Flüssigkeiten ins Gerät gelangen.
- Berühren Sie während eines Gewitters nicht den Netzstecker bzw. stecken Sie ihn nicht in die Steckdose, falls er bereits abgezogen wurde, da andernfalls Stromschlaggefahr besteht.
- Ziehen Sie das Netzkabel aus der Wandsteckdose, falls der aktive Subwoofer längere Zeit nicht verwendet wird.
- Verwenden Sie die Einheit nicht für längere Zeit, wenn eine Tonstörung vorliegt. Andernfalls kann sich der Lautsprecher erhitzten und einen Brand verursachen.
- Stellen Sie anfänglich keine zu hohe Lautstärke ein. Beim Einschalten kann ein lauter Ton erzeugt werden, der den Lautsprecher oder Ihr Gehör beschädigen kann. Senken Sie als Vorsichtsmaßnahme vor dem Ausschalten der Einheit die Lautstärke und heben Sie sie nach dem erneuten Einschalten schrittweise an.
- Achten Sie nach der Verwendung der Einheit darauf, den Netzstecker von der Steckdose abzuziehen.
- Ziehen Sie bei Wartungsarbeiten an der Einheit den Netzstecker/Netzanschluß aus der Wandsteckdose. Andernfalls setzen Sie sich einer Stromschlaggefahr aus.
- Ziehen Sie den Stecker heraus, bevor Sie den aktiven Subwoofer säubern. Zum Säubern sollte nur ein leicht befeuchtetes Tuch verwendet werden, auf keinen Fall Flüssigkeiten oder Reinigungssprays.
- Maschinenlärminformations-Verordnung 3. GPSGV: Der höchste Schalldruckpegel beträgt 70 dB(A) oder weniger gemäß EN ISO 7779

Vorsichtsmaßnahmen für die Handhabung

Achten Sie darauf, die folgenden Vorsichtsmaßnahmen einzuhalten, da andernfalls ein kompletter Ausfall, eine Funktionsstörung oder eine Beschädigung der Einheit auftreten kann.

■ Vorsichtsmaßnahmen für die Handhabung und die Aufbewahrung

- Verwenden und lagern Sie dieses Produkt innerhalb der in diesem Dokument spezifizierten Betriebs- und Lagertemperaturbereiche.**
- Verwenden Sie ausschließlich das mit dem ELPSP01 gelieferte Netzteil und Netzkabel.**

Sollte der ELPSP01 aufgrund der Verwendung eines anderen als des mit dem ELPSP01 gelieferten Netzteils oder Netzkabels ausfallen, erlischt die Garantie.

- Stellen Sie den ELPSP01 nicht an Orten auf, die Vibrationen oder Stöße ausgesetzt sind.**
- Stellen Sie den ELPSP01 nicht so auf, daß er auf seiner Seite liegt oder schräg steht.**
- Verwenden Sie beim Aufstellen des ELPSP01 die (mitgelieferten) selbstklebenden Stellfüße, um Vibrationen zu vermeiden.**
- Stellen Sie den ELPSP01 direkt auf dem Fußboden auf. Legen Sie keine Gegenstände unter den ELPSP01.**
Der ELPSP01 wurde für optimale Leistung bei seiner Aufstellung auf harten Fußböden konzipiert.
- Das Einspeisen der folgenden Signale in den ELPSP01 kann Überstrom verursachen, der im Ausfall des ELPSP01 resultiert:**
 - Spezielle CD-Signaltöne zur Durchführung von Audiotests
 - Der Knallton, der erzeugt wird, wenn beispielsweise das RCA-Kabel abgezogen und wieder angeschlossen wird, während der ELPSP01 eingeschaltet ist
 - Der Heulton, der erzeugt wird, wenn ein Mikrofon verwendet wird (beim Anschließen eines generellen aktiven Lautsprechers)
 - Ein zu starkes akustisches Eingangssignal, das erzeugt wird, wenn der ELPSP01 für Karaoke verwendet wird (beim Anschließen eines generellen aktiven Lautsprechers)
- Der ELPSP01 kann gelegentlich Störgeräusche aufnehmen, wenn er in der Nähe eines Fernseh- oder Computerbildschirms aufgestellt ist.**Stellen Sie den ELPSP01 in diesem Fall weiter von der Störgeräuschquelle entfernt auf.
- Der ELPSP01 wurde im Hinblick auf magnetische Störungsfreiheit konzipiert. Er kann jedoch, abhängig von seiner Aufstellung, Farbstörungen oder Bildverzerrungen von Fernseh- und Computerbildschirmen verursachen. Stellen Sie den ELPSP01 in diesem Fall etwas weiter entfernt auf.**

■ Pflege Ihres ELPSP01

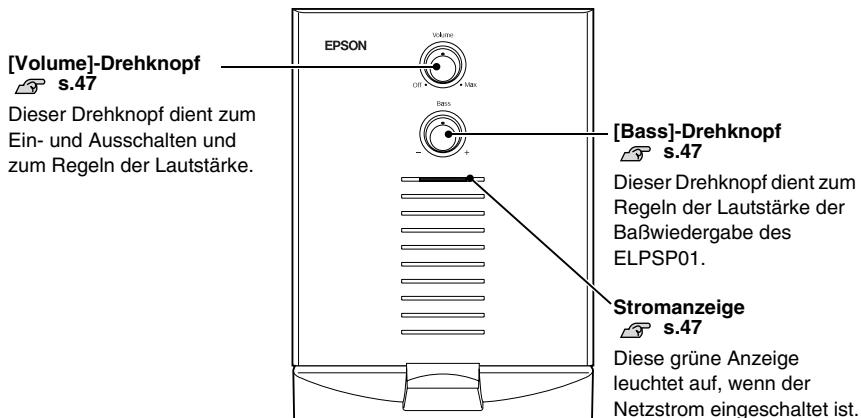
Wischen Sie etwaige Verschmutzungen des ELPSP01 mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Bei hartnäckigen Schmutzrückständen können Sie ein weiches, trockenes Tuch mit einem mit Wasser verdünnten, neutralen Reinigungsmittel anfeuchten, das Tuch fest auswringen und den ELPSP01 vorsichtig abwischen. Wischen Sie zum Schluß mit einem weichen, trockenen Tuch nach.

Funktionsmerkmale

Dieser aktive Subwoofer gibt Baßtöne trotz seiner geringen Größe realistisch wieder.

Namen und Funktionen der Geräteteile

■ Geräteforent



[Volume]-Drehknopf

s.47

Dieser Drehknopf dient zum Ein- und Ausschalten und zum Regeln der Lautstärke.

[Bass]-Drehknopf

s.47

Dieser Drehknopf dient zum Regeln der Lautstärke der Baßwiedergabe des ELPSP01.

Stromanzeige

Diese grüne Anzeige leuchtet auf, wenn der Netzstrom eingeschaltet ist.

■ Rückseite

[Subwoofer Input]-Anschlüsse

s.45

Dieser Anschluß dient zum Anschließen eines Projektors mit integriertem DVD/Lautsprecher.

[Low Pass Filter]-Drehknopf

s.47

Dieser Drehknopf dient zum Einstellen der höchsten Wiedergabefrequenz.

[Line Output]-Anschlüsse*

s.46

Diese Anschlüsse dienen zur Signalausgabe an aktive Lautsprecher oder andere Geräte.

[DC IN 12V]-Anschluß

s.45,46

Dieser Anschluß dient zum Anschließen des Netzteils.

[Line Input]-Anschlüsse*

s.46

Diese Anschlüsse dienen zur Signaleingabe von einem PC oder einer anderen Tonquelle.

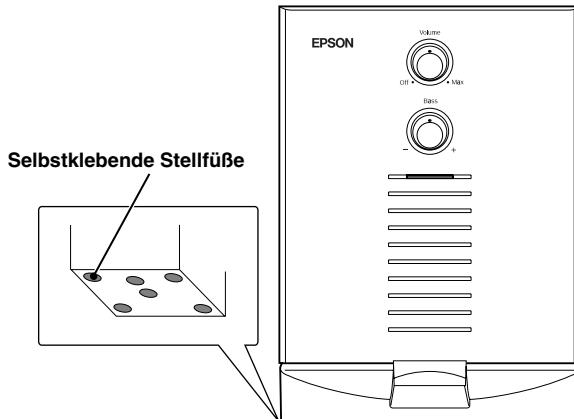
* Bei Verwendung eines Projektors mit integriertem DVD/Lautsprecher ist kein Anschluß an die [Line Input]- und [Line Output]-Anschlüsse erforderlich.

Anschließen des ELPSP01

■ Vor dem Anschließen

Bringen Sie die mitgelieferten selbstklebenden Stellfüße in den Aussparungen unten am ELPSP01 an.

Die Verwendung der Stellfüße ermöglicht die Wiedergabe hochwertiger Baßtöne, da sie den direkten Kontakt der Unterseite des ELPSP01 mit dem Fußboden vermeidet und Vibrationen eliminiert.



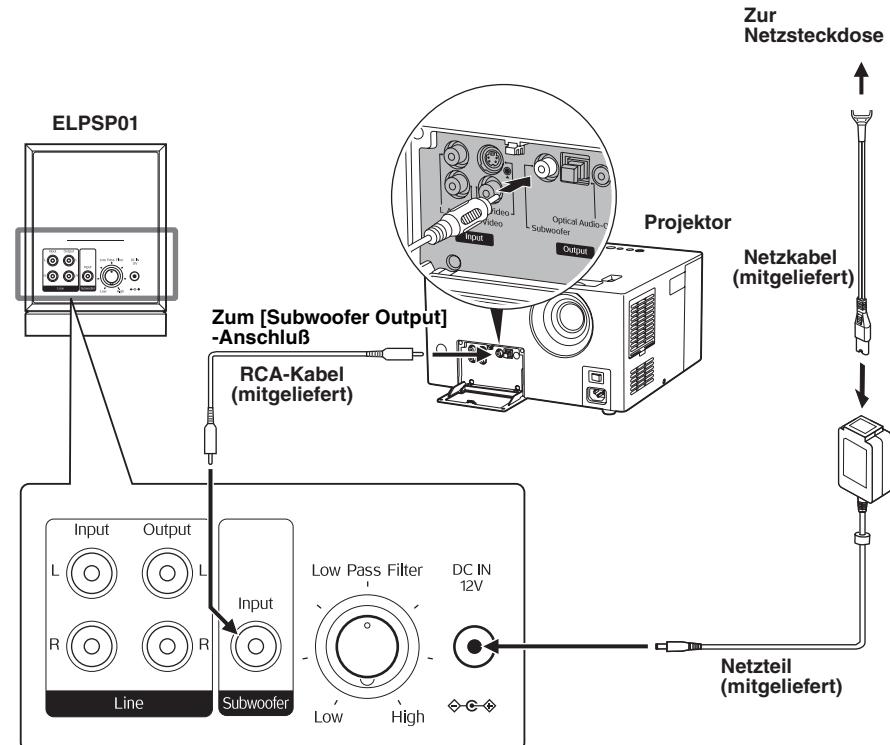
■ Anschlußmethoden

Vergewissern Sie sich vor dem Anschließen des Netzkabels, daß Folgendes durchgeführt wurde.

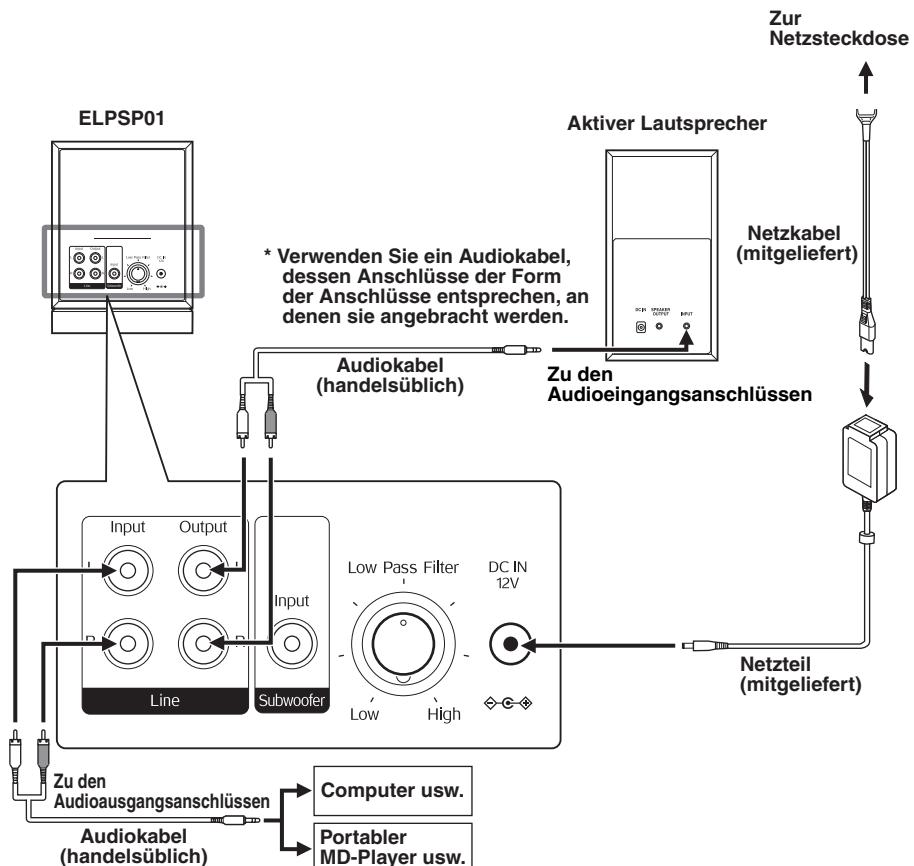
- Alle Anschlüsse sind erfolgt.
- Drehen Sie den [Volume]-Drehknopf entgegen dem Uhrzeigersinn in Richtung "Off".
- Drehen Sie den [Bass]-Drehknopf entgegen dem Uhrzeigersinn und stellen Sie ihn auf "-" ein.

⚠ Warnung

Verwenden Sie ausschließlich das mitgelieferte Netzteil und Netzkabel. Verwenden Sie keine anderen Netzteile und Netzkabel am ELPSP01.



Anschließen an einen generellen aktiven Lautsprecher

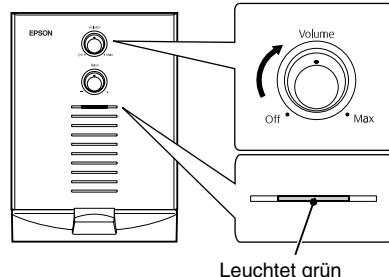


Tipp

- Das Drehen des [Volume]-Drehknops an der Gerätefront im Uhrzeigersinn erhöht sowohl die Lautstärke des ELPSP01 als auch des angeschlossenen aktiven Lautsprechers.
- Die Stärke des Ausgangssignals variiert je nach dem Gerät, an das der ELPSP01 angeschlossen ist. Die Lautstärke kann deshalb gelegentlich auch dann extrem niedrig sein, wenn der [Volume]-Drehknopf auf die maximale Lautstärke eingestellt ist. Erhöhen Sie in diesem Fall die Lautstärke des Geräts (zum Beispiel des portablen MD-Players), an das der ELPSP01 angeschlossen ist, so daß der EIPSP01 das angemessene Eingangssignal empfängt. Erhöhen Sie zum Beispiel die vom Computer ausgegebene Lautstärke, wenn ein Computer als Signalquelle verwendet wird, so daß der ELPSP01 das angemessene Eingangssignal empfängt.

Einschalten des Netzstroms

- 1** Stecken Sie den Netzkabelstecker erst in die Steckdose, nachdem alle Anschlüsse erfolgt sind.
- 2** Wenn Sie den [Volume]-Drehknopf drehen, hören Sie ein kratzendes Geräusch, an dem erkennbar ist, daß der Netzstrom eingeschaltet ist. Die grüne Stromanzeige an der Gerätefront leuchtet auf, wenn der Netzstrom eingeschaltet ist.



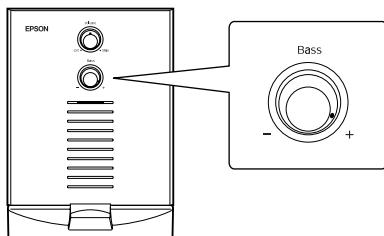
Einstellen der Baßbereichlautstärke

Drehen Sie den [Bass]-Drehknopf in eine Position in der Nähe des "+"-Symbols, wie in der Abbildung, rechts, dargestellt. Dies ist die empfohlene Einstellung, bei der eine angemessene Wiedergabe von Baßtönen gegeben ist.

Der Lautstärkepegel variiert jedoch je nach der Tonquelle, die wiedergegeben werden soll.

Stellen Sie den Drehknopf nach Wunsch ein, falls mit dieser Einstellung keine zufriedenstellende Wiedergabe erreicht wird.

*Wenn Sie den ELPSP01 an einen generellen aktiven Lautsprecher anschließen, sollten Sie die Einstellung des Drehknopfs an den Lautsprecher anpassen.



Achtung

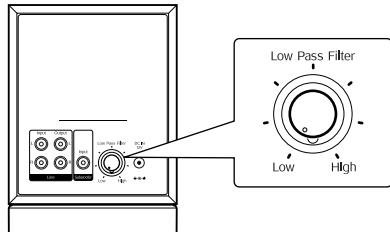
Bei einer übermäßigen Verstärkung des Baßbereichs oder bei der Wiedergabe einer Tonquelle mit einem ungewöhnlich hohen Baßanteil können neben den üblicherweise vom ELPSP01 generierten Tonsignalen auch anormale Töne erzeugt werden. Dies ist keine Funktionsstörung. Verringern Sie jedoch die Lautstärke, da eine längere Verwendung in diesem Zustand in einer Beschädigung des Lautsprechers resultieren könnte.

Einstellen des Tiefpaßfilters

Die Standardeinstellung des [Low Pass Filter]-Drehknopfs ist in der Abbildung, links, dargestellt.

Halten Sie diese Einstellung bei, da sie in einer angemessenen Wiedergabefrequenz und einem ausgewogenen Klangbild resultiert.

*Wenn Sie den ELPSP01 an einen generellen aktiven Lautsprecher anschließen, sollten Sie die Einstellung des Drehknopfs an die Wiedergabefrequenz des Lautsprechers anpassen.



Ausschalten des Netzstroms

- 1** Drehen Sie den [Bass]-Drehknopf entgegen dem Uhrzeigersinn in die Position "-".
- 2** Drehen Sie den [Volume]-Drehknopf entgegen dem Uhrzeigersinn in die Position "OFF".

Fehlersuche

Prüfen Sie bei einer Funktionsstörung des ELPSP01 zunächst die folgenden Punkte, bevor Sie sich an einen Reparaturdienst wenden. Falls das Problem damit nicht behoben werden kann, wenden Sie sich bitte an den Händler, bei dem Sie das Gerät gekauft haben, oder an die nächstgelegene Adresse, die in der mit dem Projektor gelieferten Bedienungsanleitung angegeben ist.

Fehler	Ursache	Maßnahme
Der Netzstrom kann nicht eingeschaltet werden.	Die Lautstärke des am ELPSP01 angeschlossenen aktiven Lautsprechers ist niedrig.	Ziehen Sie das Netzteil oder Netzkabel ab und stecken Sie es dann wieder an. (☞ s.45,46)
Der Subwoofer gibt keinen Ton wieder.	<ul style="list-style-type: none"> • Der ELPSP01 ist nicht eingeschaltet. • Das RCA- oder Audiokabel ist nicht angeschlossen. 	<ul style="list-style-type: none"> • Drehen sie den [Volume]-Drehknopf, um den ELPSP01 einzuschalten. (☞ s.48) • Ziehen Sie das RCA- oder Audiokabel ab und schließen Sie es wieder vollkommen am ELPSP01 oder dem angeschlossenen Gerät an. (☞ s.45,46)
Die Lautstärke des Subwoofers ist niedrig.	<ul style="list-style-type: none"> • Der [Volume]- oder [Bass]-Drehknopf am ELPSP01 ist nicht auf eine angemessene Position eingestellt. • Die Tonquelle enthält kein Baßsignal. 	<ul style="list-style-type: none"> • Drehen Sie den [Volume]- oder [Bass]-Drehknopf am ELPSP01 auf eine angemessene Position. (☞ s.43) • Verwenden Sie eine Tonquelle, die ein Baßsignal enthält.
Ein lauter Brummton ist hörbar.	<ul style="list-style-type: none"> • Das RCA- oder Audiokabel ist nicht vollkommen eingesteckt. • Es liegt eine Störung durch eine externe Quelle (zum Beispiel durch einen Fernseher) vor. 	<ul style="list-style-type: none"> • Ziehen Sie das Kabel ab und schließen Sie es wieder vollkommen am ELPSP01 oder dem angeschlossenen Gerät an. • Entfernen Sie den ELPSP01 von der Störungsquelle.
Über den am ELPSP01 angeschlossene n aktiven Lautsprecher erfolgt keine Tonwiedergabe.	<p>Die folgenden sind wahrscheinliche Ursachen in Bezug auf den am ELPSP01 angeschlossenen aktiven Lautsprecher:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Die Lautstärke ist auf den niedrigsten Pegel eingestellt. • Das RCA- oder Audiokabel ist nicht angeschlossen. 	<ul style="list-style-type: none"> • Erhöhen Sie die Lautstärke auf den gewünschten Pegel. (☞ s.43) • Schließen Sie das RCA- oder Audiokabel ordnungsgemäß an. (☞ s.45,46)
Die Lautstärke des am ELPSP01 angeschlossene n aktiven Lautsprechers ist niedrig.	<p>Die folgende ist eine wahrscheinliche Ursache in Bezug auf den am ELPSP01 angeschlossenen aktiven Lautsprecher:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Die Lautstärke ist nicht auf den angemessenen Pegel eingestellt. 	<ul style="list-style-type: none"> • Erhöhen Sie die Lautstärke auf den gewünschten Pegel. (☞ s.43)

Technische Daten

Modell:	Aktiver Subwoofer
Wiedergabefrequenzbereich:	40 bis 350 Hz
Übergangsfrequenz:	90 bis 170 Hz (variabel)
Max. Ausgabeleistung:	15 W (4 Ω)
Eingangsimpedanz:	10 kΩ oder höher (Subwoofer) 18 kΩ oder höher (LINE)
Eingangsempfindlichkeit (bei max. Lautstärke):	40 mV (Subwoofer) 40 mV (am LINE-L/R-Eingang) 80 mV (am LINE-Einzelkanal-Eingang)
Lautsprecher:	1 10-cm-Woofler
Stromzufuhr:	100 bis 240 V~ (50/60 Hz)
Stromaufnahme:	17,5 W
Betriebstemperaturbereich:	41 bis 95 Grad F (5 bis 35 °C) (nicht kondensierend)
Lagertemperaturbereich:	14 bis 140 Grad F (-10 bis 60 °C) (nicht kondensierend)
Externe Abmessungen (B x H x T):	124 x 170 x 224 (mm)
Gewicht:	2 kg

* Nennwerte und das externe Aussehen können im Interesse der Produktverbesserung ohne vorherige Ankündigung geändert werden.

Kundensupport

Bitte wenden Sie sich bei etwaigen Fragen zuerst an das unten angegebene Servicebüro.

GERMANY :

EPSON Deutschland GmbH

Zulpicher StraBe 6 40549 Dusseldorf

Tech. Help Desk: 01805 235470 Web Address: <http://www.epson.de>

■ Bevor Sie sich an einen Reparaturdienst wenden

Lesen Sie beim Auftreten von Problemen den Abschnitt "Fehlersuche" in dieser Bedienungsanleitung und prüfen Sie die Anschlüsse und Konfiguration auf etwaige Probleme.

Falls das Problem damit nicht behoben ist, sollten Sie wie folgt vorgehen und sich an einen Reparaturdienst wenden.

Reparieren Sie das Produkt niemals selbst. Dies ist sehr gefährlich.

(1) Schalten Sie das Produkt aus.

(2) Ziehen Sie den Netzkabelstecker aus der Steckdose und ziehen Sie Netzteilanschluß vom Produkt ab.

Alle Rechte vorbehalten. Kein Teil dieses Handbuchs darf in irgendeiner Form (Druck, Fotokopie, Mikrofilm oder ein anderes Verfahren) ohne die schriftliche Genehmigung der EPSON Deutschland GmbH reproduziert oder unter Verwendung elektronischer Systeme verarbeitet, vervielfältigt oder verbreitet werden. Es wird keine Patentaftung hinsichtlich der in diesem Dokument enthaltenen Informationen übernommen. Ferner wird keine Haftung übernommen für Schäden, die infolge der Verwendung der in diesem Handbuch enthaltenen Informationen auftreten.

Weder die SEIKO EPSON CORPORATION noch ihre Tochterunternehmen sind gegenüber dem Käufer haftbar für Schäden, Verluste, Kosten oder Ausgaben des Käufers oder einer dritten Partei als Folge eines Unfalls, unsachgemäßer Verwendung oder Missbrauch dieses Geräts, aufgrund von unautorisierten Änderungen, Reparaturen oder Modifikationen an diesem Gerät oder (mit Ausnahme der USA) durch Nichtbeachtung der Betriebs- und Wartungsanweisungen der SEIKO EPSON CORPORATION.

SEIKO EPSON CORPORATION haftet nicht für Schäden oder Störungen durch die Verwendung von Optionen oder Verbrauchsmaterialien, wenn diese keine originalen EPSON-Produkte sind oder keine ausdrückliche Zulassung der SEIKO EPSON CORPORATION als „EPSON Approved Product“ haben.

Indice

Controllo del contenuto della confezione	53	Accensione del subwoofer	61
Istruzioni sulla sicurezza	54	Regolazione del volume della gamma dei bassi	61
Precauzioni per il maneggiamento	56	Regolazione del filtro Low Pass.....	61
Caratteristiche.....	57	Spegnimento del subwoofer ...	62
Nomenclatura e funzioni delle parti.....	57	Schemi di verifica per la risoluzione dei problemi	62
Collegamento dell'ELPSP01	58	Specifiche tecniche	63
		Assistenza clienti	63

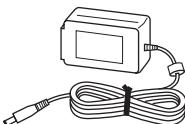
Notazioni utilizzate nel presente manuale

	Per evitare di danneggiare l'ELPSP01 è necessario adottare una serie di precauzioni.
	I suggerimenti forniscono utili indicazioni riguardanti le istruzioni per l'uso o altre informazioni di rilievo.
	Le frecce rimandano ai numeri delle pagine contenenti argomenti correlati o informazioni dettagliate.

Controllo del contenuto della confezione

Utilizzare la lista di controllo riportata di seguito per accertarsi che siano presenti tutti i componenti seguenti. In caso di componenti mancanti o difettosi, rivolgersi al punto vendita in cui è stato effettuato l'acquisto.

*Conservare la scatola e i materiali d'imballaggio di protezione forniti con la confezione al momento dell'acquisto per poterli riutilizzare in futuro (ad esempio nel caso in cui sia necessario imballare di nuovo il subwoofer per il trasporto).



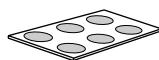
Adattatore CA



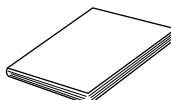
Cavo di alimentazione
(1,8 m)
(solo per uso domestico)



Cavo RCA
(1,5 m)



Piedini adesivi
(6 pezzi)



Manuale d'uso
(il presente documento)

Istruzioni sulla sicurezza

Leggere attentamente le seguenti informazioni importanti relative al subwoofer attivo.

■ Informazioni importanti

Nel caso in cui si verifichino le condizioni descritte di seguito, scollegare il subwoofer dalla presa a muro e rivolgersi a personale di assistenza qualificato.

- Se il cavo di alimentazione o la spina sono danneggiati o consumati.
- Se è stato versato del liquido all'interno del subwoofer o se lo stesso è stato esposto alla pioggia o all'acqua.
- In caso di caduta del subwoofer o di danni all'alloggiamento.
- Se anche seguendo correttamente le istruzioni per l'uso il subwoofer non funziona oppure mostra una netta variazione di prestazioni, indicando una necessità di intervento.
- Non aprire mai alcun coperchio del subwoofer attivo. Non cercare di riparare da soli il subwoofer a meno che non sia indicato altrimenti nel presente manuale. Le tensioni elettriche all'interno del subwoofer possono causare gravi lesioni. Rivolgersi a personale di assistenza qualificato per tutte le riparazioni.
- Tenere i sacchetti di plastica del subwoofer attivo, degli accessori e delle parti opzionali al di fuori della portata dei bambini. Se i bambini dovessero infilare la testa nei sacchetti, potrebbe verificarsi il rischio di morte per soffocamento. Prestare particolare attenzione ai bambini piccoli.
- Il subwoofer attivo va utilizzato esclusivamente nel paese o regione in cui è stato acquistato.

■ Precauzioni

Attenersi alle precauzioni riportate di seguito durante l'installazione e l'uso del subwoofer attivo.

- Utilizzare la tensione di alimentazione riportata sul subwoofer. In caso di dubbi sulla tensione di alimentazione disponibile, rivolgersi al rivenditore o all'azienda fornitrice di energia elettrica locale.
- Collegare il subwoofer in prossimità di una presa a muro da cui sia possibile scollegare la spina con facilità.
- Utilizzare esclusivamente lo speciale adattatore CA e il cavo di alimentazione contenuti nella confezione. Non usare adattatori CA o cavi di alimentazione di altro tipo con l'ELPSP01.
- Non usare mai adattatori CA o cavi di alimentazione rotti. Nel caso in cui l'adattatore CA o la spina contenuti nella confezione presentino danni (fili esposti o rovinati), rivolgersi al punto vendita in cui è stato effettuato l'acquisto.
- Non modificare l'adattatore CA e il cavo di alimentazione.
- Non collocare oggetti pesanti sopra l'adattatore CA e il cavo di alimentazione.
- Non piegare e non torcere il cavo dell'adattatore CA e il cavo di alimentazione.

- Non collocare né mettere in posa l'adattatore CA e il cavo di alimentazione in prossimità di una stufa elettrica.
- Adottare le precauzioni seguenti quando si maneggia l'adattatore CA e la spina. La mancata osservanza di queste precauzioni potrebbe provocare incendi o il rischio di folgorazione.
 - Non inserire la spina in prese impolverate.
 - Non sovraccaricare le prese a muro, i cavi di prolunga o le prese multiple. Così facendo si possono provocare incendi o il rischio di folgorazione.
 - Inserire la spina fino in fondo nella presa.
 - Non maneggiare la spina con le mani bagnate.
 - Quando si disinserisce la spina dell'adattatore CA e la spina di alimentazione, non tirare il cavo di alimentazione. Afferrare il lato della spina o del connettore, quindi disinserire.
- Non collocare il subwoofer su carrelli, supporti o tavoli instabili.
- Non salire sul subwoofer e non collocarvi sopra oggetti pesanti.
- Non collocare il subwoofer in un punto in cui il cavo potrebbe essere calpestato. Così facendo la spina potrebbe consumarsi o subire danni.
- Non esporre il subwoofer ad alte temperature, lasciandolo ad esempio all'interno di veicoli. Non esporre il subwoofer alla luce diretta del sole e non collocarlo in prossimità dello sbocco d'aria di una stufa o un climatizzatore. In questo modo si potrebbe deformare il subwoofer e alterare le parti interne.
- Non esporre il subwoofer all'acqua e non appoggiarvi sopra oggetti contenenti liquidi.
- Non spingere oggetti di alcun tipo nelle fessure della struttura esterna. Non versare liquidi di alcun tipo all'interno del subwoofer.
- In caso di temporali con fulmini, non toccare la spina. Se quest'ultima è stata disinserita, non inserirla nella presa a muro. In caso contrario sussiste il rischio di folgorazione.
- Collegare il cavo di alimentazione dalla presa a muro in caso di mancato di utilizzo del prodotto per periodi di tempo prolungati.
- Non usare il subwoofer per periodi di tempo prolungati quando il sonoro risulta distorto. Così facendo si può provocare il surriscaldamento del diffusore, con conseguente rischio di incendi.
- Non alzare troppo il volume dall'inizio. Così facendo si possono provocare suoni elevati improvvisi con conseguenti danni al diffusore o all'udito. Come precauzione, abbassare il volume prima di spegnere il subwoofer, quindi aumentarlo gradualmente dopo la riaccensione.
- Dopo l'uso, staccare la spina del cavo di alimentazione dalla presa elettrica.
- Durante l'esecuzione delle operazioni di manutenzione, staccare la spina o il connettore dalla presa a muro. In caso contrario sussiste il rischio di folgorazione.
- Collegare il subwoofer dalla presa a muro prima di procedere alle operazioni di pulizia. Utilizzare un panno umido per la pulizia. Evitare detergenti liquidi o spray.

Precauzioni per il maneggiamento

Osservare le precauzioni riportate di seguito per evitare guasti, funzionamenti difettosi o danni.

■ Precauzioni per il maneggiamento e la conservazione

- **Utilizzare e conservare il subwoofer rispettando le temperature operative e di conservazione specificate nel presente documento.**
- **Utilizzare esclusivamente l'adattatore CA e il cavo di alimentazioni forniti con l'ELPSP01.**

Eventuali guasti dovuti all'uso di un adattatore CA e di un cavo di alimentazione diversi da quelli forniti con l'ELPSP01 renderanno nulla la garanzia.

- **Non installare l'ELPSP01 in luoghi in cui può essere soggetto a vibrazioni o urti.**
- **Non installare l'ELPSP01 di lato o inclinato ad angolo.**
- **Durante l'installazione dell'ELPSP01, utilizzare i piedini adesivi (in dotazione) per eliminare le vibrazioni.**
- **Installare l'ELPSP01 direttamente sul pavimento. Non appoggiare niente sotto l'ELPSP01.**

L'ELPSP01 è stato progettato per assicurare prestazioni ottimali quando è installato su un pavimento duro.

- **L'invio al subwoofer dei segnali speciali elencati di seguito può provocare una sovraccorrente, con conseguente guasto dell'ELPSP01:**
 - Toni di segnale di CD per l'esecuzione dei controlli audio
 - Tono di scarica elettrica prodotto ad esempio quando il cavo RCA viene scollegato e ricollegato mentre l'ELPSP01 è acceso
 - Gracchiare prodotto da un microfono (in caso di collegamento a un diffusore attivo generale)
 - Ingresso vocale eccessivo quando l'ELPSP01 è utilizzato ad esempio per il karaoke (in caso di collegamento a un diffusore attivo generale)
- **Quando installato in prossimità di un apparecchio televisivo o di uno schermo di computer, l'ELPSP01 può essere soggetto a disturbi. In tal caso, allontanare l'ELPSP01 dalla sorgente del disturbo.**
- **L'ELPSP01 è stato progettato per non emettere onde elettromagnetiche. A seconda del tipo di installazione, tuttavia, il subwoofer potrebbe provocare scolorimento o distorsioni su apparecchi televisivi o schermi di computer. Se ciò dovesse avvenire, allontanare leggermente l'ELPSP01.**

■ Cura del subwoofer ELPSP01

Rimuovere le impurità dall'ELPSP01 servendosi di un panno morbido e pulito. In caso di sporco resistente, passare con delicatezza un panno morbido inumidito con detergente neutro diluito con acqua (dopo aver strizzato bene il panno). Alla fine ripassare con un panno morbido e asciutto.

Caratteristiche

Nonostante le dimensioni contenute, il subwoofer attivo riproduce i toni bassi con effetti estremamente realistici.

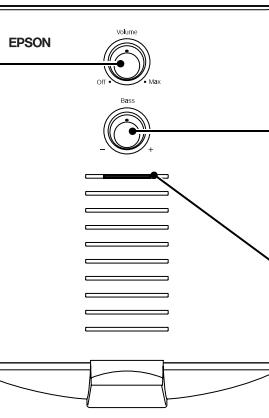
Nomenclatura e funzioni delle parti

■ Pannello anteriore

Manopola [Volume]

 p.61

Questa manopola serve per accendere e spegnere il subwoofer e per regolare il volume.



Manopola [Bass]

 p.61

Questa manopola serve per regolare il volume dei bassi riprodotti dall'ELPSP01.

Indicatore alimentazione

 p.61

Quando il subwoofer è acceso, questo indicatore verde si illumina.

■ Pannello posteriore

Terminali [Subwoofer Input]

 p.59

Questo terminale serve per il collegamento a un proiettore-diffusore/DVD integrato.

Terminali [Line Output]*

 p.60

Questi terminali servono per inviare i segnali ai diffusori attivi e ad altri apparecchi.

Terminali [Line Input]*

 p.60

Questi terminali servono per immettere i segnali provenienti da un PC o da un'altra sorgente audio.

Manopola [Low Pass Filter]

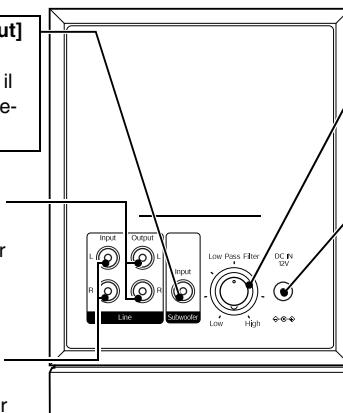
 p.61

Questa manopola serve per regolare il punto al di sopra del quale avviene il taglio delle frequenze.

Terminale [DC IN 12V]

 p.59,60

Questo terminale serve per collegare l'adattatore CA.



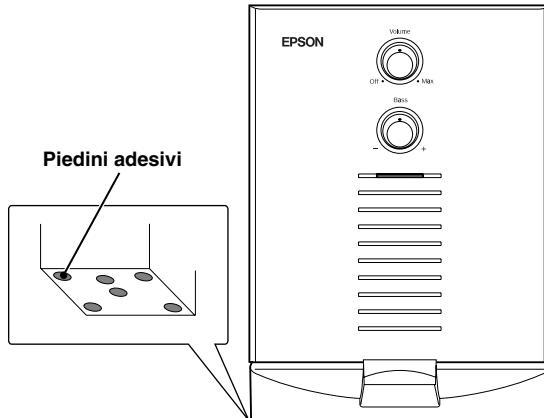
* Quando si utilizza un proiettore-diffusore/DVD integrato, non è necessario collegare i terminali [Line Input] e [Line Output].

Collegamento dell'ELPSP01

■ Prima di eseguire i collegamenti

Applicare i piedini adesivi (contenuti nella confezione) alle depressioni arrotondate presenti sulla base dell'ELPSP01.

I piedini adesivi impediscono che la base dell'ELPSP01 entri a contatto diretto con il pavimento, eliminando così le vibrazioni e consentendo di ottenere toni bassi di alta qualità.



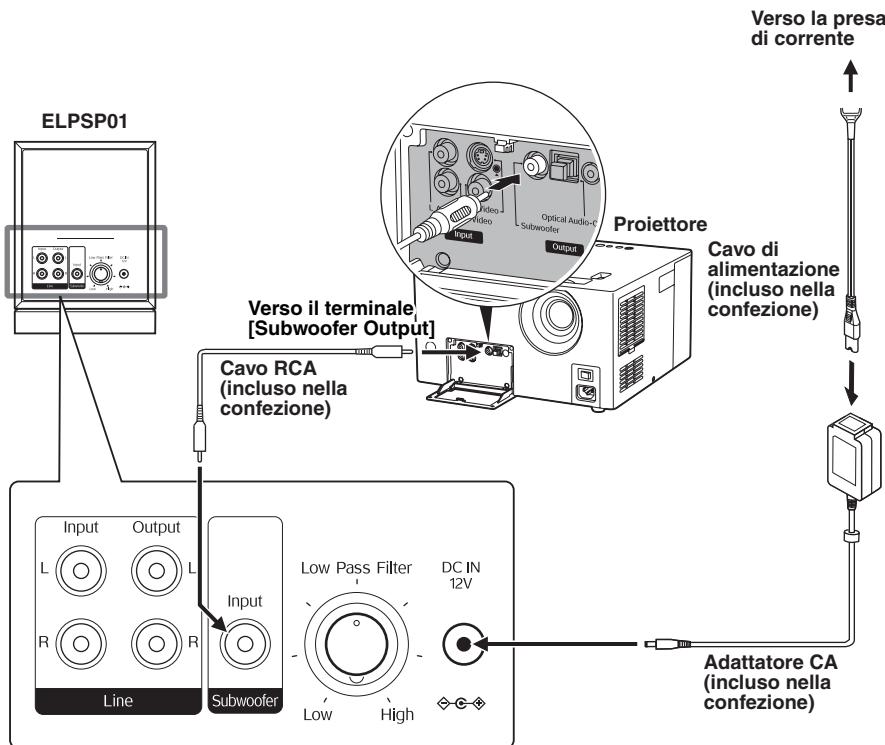
■ Metodi di collegamento

Prima di collegare il cavo di alimentazione alla presa elettrica, accertarsi che sia stato eseguito quanto segue.

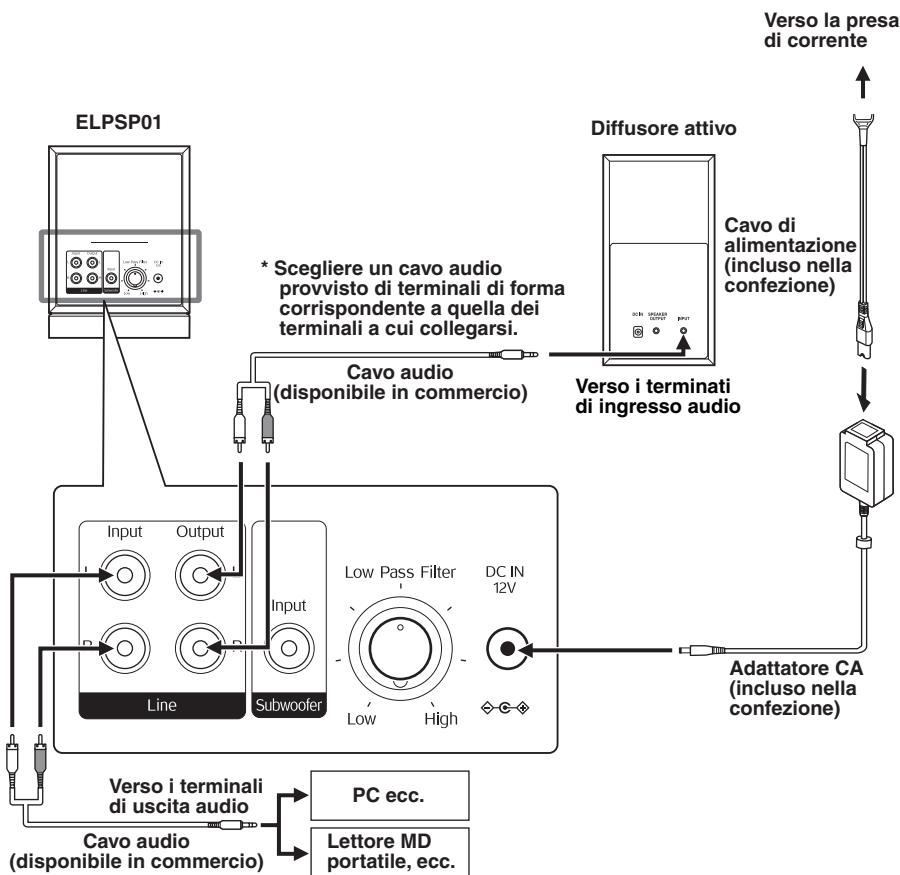
- Tutti i collegamenti sono stati ultimati.
- Ruotare la manopola [Volume] in senso antiorario per portarla su "Off".
- Ruotare la manopola [Bass] in senso antiorario per portarla su "-".

⚠ Avvertenza

**Utilizzare esclusivamente lo speciale adattatore CA
e il cavo di alimentazione contenuti nella
confezione. Non usare adattatori CA o cavi di
alimentazione di altro tipo con l'ELPSP01.**



Collegamento a un diffusore attivo generale

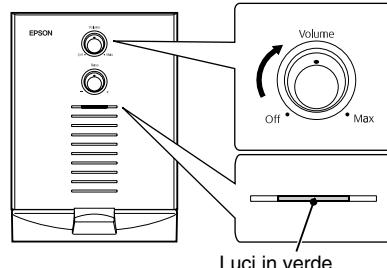


Suggerimento

- Ruotare la manopola [Volume] del pannello anteriore in senso orario per aumentare il volume dell'ELPSP01 e del diffusore attivo collegato.
- L'entità del suono prodotto varia a seconda del tipo di apparecchio al quale è collegato l'ELPSP01. Per questo motivo, il volume può risultare talvolta estremamente basso anche se la manopola [Volume] del pannello anteriore indica il volume massimo. In tal caso, aumentare il volume dell'apparecchio (ad esempio il lettore MD portatile) al quale è collegato il subwoofer, in modo che il segnale appropriato venga inviato all'ELPSP01. In aggiunta, in caso di collegamento a un PC come sorgente di ingresso, aumentare il volume prodotto dal PC in modo che il segnale appropriato venga inviato all'ELPSP01.

Accensione del subwoofer

- 1 Dopo aver ultimato tutti i collegamenti, inserire la spina del cavo di alimentazione nella presa elettrica.
- 2 Quando si ruota la manopola [Volume] si sente uno scoppietto, indicante che il subwoofer è acceso. Quando il subwoofer è acceso, l'indicatore di alimentazione verde del pannello anteriore si illumina.

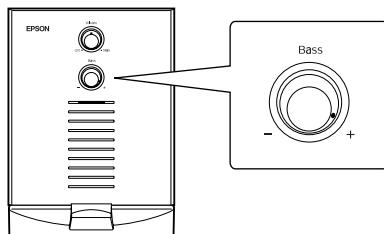


Regolazione del volume della gamma dei bassi

Ruotare la manopola [Bass] portandola nella posizione vicino al simbolo "+", come illustrato nella figura a destra. È questa l'impostazione consigliata per ottenere toni bassi ottimali.

Il livello del volume, tuttavia, varia a seconda della sorgente audio da riprodurre. Se il risultato non è soddisfacente, ruotare la manopola fino a ottenere l'impostazione più adatta.

*In caso di collegamento dell'ELPSP01 a un diffusore attivo generale, regolare la manopola sulla base della frequenza di riproduzione del diffusore.



Attenzione

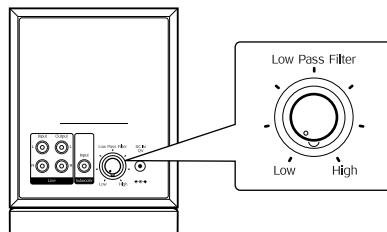
In caso di aumento eccessivo della gamma dei bassi, oppure di riproduzione di una sorgente audio particolare con una gamma dei bassi enfatizzata in modo eccessivo, oltre ai segnali generati normalmente dall'ELPSP01 potrebbero essere prodotti anche dei suoni anomali. Non si tratta di un funzionamento difettoso.

Abbassare comunque il volume in quanto l'uso prolungato in queste condizioni potrebbe provocare danni al diffusore.

Regolazione del filtro Low Pass

La figura a destra mostra l'impostazione predefinita della manopola [Low Pass Filter]. Non modificare tale impostazione in quanto fornisce una frequenza di riproduzione appropriata e toni ben equilibrati.

*In caso di collegamento dell'ELPSP01 a un diffusore attivo generale, regolare la manopola sulla base della frequenza di riproduzione del diffusore.



Spegnimento del subwoofer

- 1 Ruotare la manopola [Bass] in senso antiorario fino a portarla su "-".**
- 2 Ruotare la manopola [Volume] in senso antiorario fino a portarla su "OFF".**

Schemi di verifica per la risoluzione dei problemi

Se l'ELPSP01 non funziona correttamente, verificare quanto segue prima di rivolgersi al servizio di assistenza. Se il problema persiste, rivolgersi al punto vendita in cui è stato effettuato l'acquisto oppure al centro di assistenza più vicino riportato nel Manuale d'uso fornito con il Proiettore.

Problema	Causa	Misura correttiva
Il subwoofer non si accende.	L'adattatore CA, o il cavo di alimentazione, non è inserito completamente.	Scollegare l'adattatore CA o il cavo di alimentazione e ricollegarlo correttamente. (☞ p.59,60)
Il subwoofer non emette alcun suono.	<ul style="list-style-type: none">• L'ELPSP01 è spento.• Il cavo RCA o il cavo audio è staccato.	<ul style="list-style-type: none">• Ruotare la manopola [Volume] per accendere l'ELPSP01. (☞ p.61)• Scollegare il cavo RCA o il cavo audio, quindi inserirlo di nuovo nell'ELPSP01, o nell'apparecchio collegato, fino in fondo. (☞ p.59,60)
Il suono prodotto dal subwoofer è basso.	<ul style="list-style-type: none">• La manopola [Volume] oppure [Bass] dell'ELPSP01 non è nella posizione corretta.• La sorgente audio non contiene un segnale di bassi.	<ul style="list-style-type: none">• Ruotare la manopola [Volume] oppure [Bass] dell'ELPSP01 portandola nella posizione corretta. (☞ p.57)• Riprodurre una sorgente audio contenente un segnale di bassi.
Si sentono rimbombi e ronzii.	<ul style="list-style-type: none">• Il cavo RCA o il cavo audio non è inserito completamente.• C'è una dispersione di rumore indotto proveniente da una sorgente esterna (per esempio un televisore).	<ul style="list-style-type: none">• Scollegare il cavo, quindi inserirlo di nuovo fino in fondo nell'ELPSP01 o nell'apparecchio collegato.• Allontanare l'ELPSP01 dalla sorgente del rumore.
Il diffusore attivo collegato all'ELPSP01 non produce alcun suono.	<p>Le possibili cause vanno ricercate nel diffusore attivo collegato all'ELPSP01:</p> <ul style="list-style-type: none">• Volume impostato sul minimo• Cavo RCA o cavo audio scollegato	<ul style="list-style-type: none">• Aumentare il volume portandolo sul livello appropriato. (☞ p.57)• Collegare correttamente il cavo RCA o il cavo audio. (☞ p.59,60)
Il diffusore attivo collegato all'ELPSP01 produce un suono troppo basso.	<p>La possibile causa va ricercata nel diffusore attivo collegato all'ELPSP01:</p> <ul style="list-style-type: none">• Volume non impostato sulla posizione corretta	<ul style="list-style-type: none">• Aumentare il volume portandolo sul livello appropriato. (☞ p.57)

Specifiche tecniche

Modello:	Subwoofer Attivo
Gamma di frequenze riproducibili:	da 40 a 350 Hz
Frequenza di crossover:	da 90 a 170 Hz (variabile)
Uscita massima:	15 W (4 Ω)
Impedenza in ingresso:	10 kΩ o superiore (subwoofer) 18 kΩ o superiore (LINEA)
Sensibilità in ingresso (al volume massimo):	40 mV (subwoofer) 40 mV (ingresso LINEA S/D) 80 mV (ingresso canale singolo LINEA)
Diffusore:	woofer da 10 cm (1 unità)
Tensione di alimentazione:	da 100 a 240 V di CA (50/60 Hz)
Consumo energetico:	17,5 W
Gamma di temperature di esercizio:	da 5 a 35 °C (da 41 a 95 gradi F) (senza condensa)
Gamma di temperature di stoccaggio:	da -10 a 60 °C (da 14 a 140 gradi F) (senza condensa)
Dimensioni esterne (L x H x P):	124 x 170 x 224 (mm)
Peso:	2 kg

* Le potenze nominali e l'aspetto esteriore sono soggetti a modifiche senza preavviso allo scopo di apportare migliorie al prodotto.

Assistenza clienti

In caso di dubbi, per prima cosa rivolgersi al centro di assistenza indicato nel Manuale d'uso fornito con il proiettore.

■ Prima di rivolgersi al servizio di assistenza

In caso di funzionamenti difettosi, consultare gli "Schemi di verifica per la risoluzione dei problemi" riportati nel presente Manuale d'uso, quindi controllare collegamenti e installazione per escludere eventuali problemi.

Se il problema persiste, eseguire quanto indicato di seguito e richiedere l'intervento del servizio di assistenza.

Non eseguire mai da soli le riparazioni per evitare di esporsi a pericoli.

(1) Spegnere l'unità.

(2) Staccare la spina del cavo di alimentazione dalla presa, quindi scollegare il terminale di collegamento dell'adattatore CA dall'unità.

Tutti i diritti riservati. Nessuna parte di questa pubblicazione può essere riprodotta, memorizzata in sistemi informatici o trasmessa in qualsiasi forma o con qualsiasi mezzo, elettronico, meccanico, con fotocopie, registrazioni o altro mezzo, senza il consenso scritto di SEIKO EPSON CORPORATION. Si declina qualsiasi responsabilità verso brevetti in relazione all'uso delle informazioni qui contenute. Si declina altresì qualsiasi responsabilità per danni derivanti dall'uso delle informazioni qui contenute.

Né SEIKO EPSON CORPORATION né le sue società affiliate potranno essere ritenute responsabili nei confronti dell'acquirente di questo prodotto o verso terzi per eventuali danni, perdite, costi o spese sostenute dall'acquirente o da terzi in seguito a: incidenti, cattivo uso o abuso di questo prodotto o modifiche, riparazioni o alterazioni non autorizzate effettuate sullo stesso o (esclusi gli Stati Uniti) la mancata stretta osservanza delle istruzioni operative e di manutenzione di SEIKO EPSON CORPORATION.

SEIKO EPSON CORPORATION non potrà essere ritenuta responsabile per qualunque danno o inconveniente derivante dall'uso di accessori o materiali di consumo diversi da quelli specificati come Prodotti Originali EPSON o Prodotti Approvati EPSON da parte di SEIKO EPSON CORPORATION.

Contenido

Desembalaje del producto	65	Ajuste del volumen de la gama de graves	73
Instrucciones de seguridad	66	Ajuste del filtro de paso bajo	73
Precauciones en la manipulación....	68	Desconexión del aparato	74
Características	69	Hoja de verificación de problemas	74
Nombres y funciones de las partes	69	Especificaciones	75
Conexión del ELPPSP01	70	Servicio técnico	75
Encendido del aparato	73		

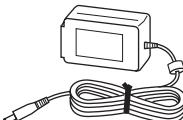
Anotaciones usadas en este manual

	Deberán observarse las precauciones para evitar daños en el ELPPSP01.
	Los consejos ofrecen sugerencias útiles sobre las instrucciones de funcionamiento y otra información relevante.
	Las flechas indican los números de página donde se incluye información detallada o temas relacionados.

Desembalaje del producto

Cuando desembale el producto, compruebe que están incluidos todos estos componentes. Si alguno de los componentes falta o está dañado, le rogamos que se ponga en contacto con el establecimiento donde ha adquirido el producto.

*Guarde la caja de embalaje y los materiales de protección suministrados con el producto para un posible uso futuro (por ejemplo, si vuelve a embalar el producto para su transporte).



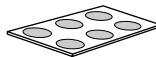
Adaptador de CA



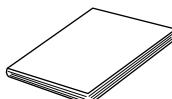
Cable de alimentación
(1,8 m)
(para uso en su país solamente)



Cable RCA
(1,5 m)



Adhesivos para la base (6 unidades)



Manual de instrucciones
(este documento)

Instrucciones de seguridad

Lea la siguiente información importante sobre el subwoofer alimentado.

■ Información importante

En las situaciones indicadas a continuación, desconecte el producto de la toma de corriente y acuda a un servicio técnico cualificado:

- Cuando el cable de alimentación o el enchufe se encuentren dañados o desgastados.
- Si se ha derramado líquido sobre el producto o si éste ha estado expuesto a la lluvia o al agua.
- Si se ha caído o si la carcasa se ha dañado.
- Si no funciona con normalidad al seguir las instrucciones de funcionamiento, o si muestra un rendimiento notablemente inferior que indique la necesidad de mantenimiento.
- Nunca abra ninguna tapa del subwoofer alimentado ni intente reparar el producto usted mismo, a excepción de lo indicado en este manual. El interior del producto está sometido a un voltaje elevado que podría ocasionar lesiones. Solicite al servicio técnico cualificado cualquier tarea de reparación.
- Guarde las bolsas de plástico del subwoofer alimentado, los accesorios y las partes opcionales fuera del alcance de los niños. Existe riesgo de muerte por asfixia si un niño se cubre la cabeza con una bolsa. Tenga especial cuidado con los niños pequeños.
- No utilice el subwoofer alimentado fuera del país o la región donde ha adquirido el producto.

■ Instrucciones de seguridad

Siga las instrucciones de seguridad cuando configure y utilice el subwoofer.

- Utilice el tipo de voltaje indicado en el producto. Si no está seguro del tipo de corriente disponible, consulte a su distribuidor o a la compañía eléctrica local.
- Coloque el producto cerca de una toma de pared donde el enchufe pueda desconectarse fácilmente.
- Utilice solamente el adaptador de CA y el cable de alimentación incluidos con el producto. No utilice otros adaptadores de CA o cables de alimentación en el ELPSP01.
- No utilice un adaptador de CA o cable de alimentación estropeado. Si el adaptador de CA o el enchufe de alimentación incluidos con el producto están en mal estado (el hilo del cable está descubierto o roto), consulte en el establecimiento donde ha adquirido el producto.
- No modifique el adaptador de CA ni el cable de alimentación.
- No coloque objetos pesados sobre el adaptador de CA o el cable de alimentación.
- No doble ni tuerza el cable del adaptador de CA ni el cable de alimentación.
- No coloque el adaptador de CA ni el cable de alimentación cerca de un calefactor eléctrico.

- Adopte las siguientes precauciones cuando manipule el adaptador de CA y el enchufe de alimentación. De lo contrario, se puede producir un incendio o una descarga eléctrica.
 - Antes de introducir el enchufe en la toma de corriente, compruebe que no tenga polvo ni suciedad adheridos.
 - No sobrecargue las tomas de pared, los alargadores ni las regletas de conexión múltiple, ya que se podría producir un cortocircuito o una descarga eléctrica.
 - Compruebe que el enchufe quede correctamente insertado en la toma de corriente.
 - No toque el enchufe con las manos mojadas.
 - Cuando desconecte el enchufe del adaptador de CA y el enchufe de alimentación, no tire del cable de alimentación. Asegúrese de sujetar la parte del enchufe o del conector y, a continuación, desconectarlo.
- No coloque el producto en una mesilla de ruedas, estantería o mesa inestable.
- No se apoye sobre el producto ni coloque objetos pesados encima.
- No coloque el producto donde se pueda pisar el cable. Esto puede ocasionar desgaste o daños en el enchufe.
- No deje el producto en lugares que puedan alcanzar una temperatura elevada, como dentro de un coche estacionado al sol o cerca de la salida de aire de un calefactor o aparato de aire acondicionado. De lo contrario, el producto podría deformarse y sufrir importantes daños internos.
- No exponga el producto al agua ni coloque objetos que contengan líquido sobre el producto.
- No inserte ningún tipo de objeto a través de las ranuras de la carcasa. No derrame líquidos en el interior del producto.
- Si hay una tormenta eléctrica, no toque el enchufe de alimentación o, si se encuentra desconectado, no lo conecte en la toma de pared. De lo contrario, podría sufrir una descarga eléctrica.
- Desconecte el cable de alimentación de la toma de pared cuando el producto no vaya a utilizarse durante un largo período de tiempo.
- No utilice la unidad durante largos períodos de tiempo con sonidos distorsionados. De lo contrario, el altavoz se calentará y podría producirse un incendio.
- No ajuste el volumen demasiado alto al principio. Puede que se produzca un sonido muy alto de repente que dañe el altavoz o provoque lesiones auditivas. Como medida de precaución, baje el volumen antes de apagar la unidad y súbalo gradualmente cuando la conecte de nuevo.
- Cuando termine de utilizar la unidad, asegúrese de desconectar el enchufe del cable de alimentación de la toma de corriente.
- Cuando realice tareas de mantenimiento en la unidad, desconecte el enchufe/conector de alimentación de la toma de pared. De lo contrario, podría sufrir una descarga eléctrica.
- Desenchufe el producto de la toma de pared antes de limpiarlo. Utilice un paño húmedo para la limpieza. No utilice productos de limpieza líquidos o en aerosol.

Precauciones en la manipulación

Tenga en cuenta las siguientes precauciones para evitar fallos, errores de funcionamiento o daños en el producto.

■ Precauciones en la manipulación y el almacenamiento

- Utilice y almacene este producto respetando los rangos de temperatura de funcionamiento y almacenamiento especificados en este documento.
- Utilice solamente el adaptador de CA y el cable de alimentación suministrados con el ELPSP01.
Si el ELPSP01 se estropea debido al uso de un adaptador de CA y un cable de alimentación distintos a los suministrados, la garantía quedará anulada.
- No instale el ELPSP01 en lugares expuestos a vibraciones y sacudidas.
- No instale el ELPSP01 de lado ni inclinado en ángulo.
- Cuando instale el ELPSP01, utilice los adhesivos para la base (suministrados con el producto) a fin de evitar cualquier oscilación.
- Cuando instale el ELPSP01, colóquelo directamente sobre la superficie de instalación. No coloque ningún objeto debajo del ELPSP01.
El ELPSP01 se ha diseñado para funcionar de manera óptima cuando se instala sobre una superficie dura.
- La entrada de las siguientes señales especiales en el ELPSP01 puede provocar una sobreintensidad y ocasionar daños en el aparato:
 - Tonos de señal de CD especiales para realizar comprobaciones de audio
 - Tono de choque producido cuando el cable RCA, por ejemplo, se desconecta y se vuelve a conectar con el ELPSP01 encendido
 - Silbido producido cuando se utiliza un micrófono (cuando se conecta un altavoz activo general)
 - Entrada de voz excesiva cuando el ELPSP01 se utiliza para karaoke, por ejemplo (cuando se conecta un altavoz activo general)
- El ELPSP01 suele presentar alguna interferencia cuando se instala cerca de un televisor o pantalla de PC. En este caso, sepárelo de la fuente de interferencias.
- El ELPSP01 se ha diseñado con protección magnética. No obstante, puede que provoque una alteración del color o interferencias en televisores o pantallas de PC según cómo se instale. Si esto ocurriera, separe un poco el ELPSP01.

■ Cuidados del ELPSP01

Retire cualquier resto de suciedad del ELPSP01 con un paño suave y seco. En el caso de suciedad difícil de limpiar, humedezca un paño suave y seco con un detergente neutro diluido en agua, escúrralo bien y frote suavemente. A continuación, seque con un paño suave y seco.

Características

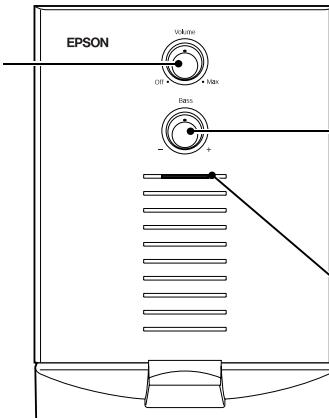
Este subwoofer alimentado reproduce los graves con gran realismo pese a su tamaño reducido.

Nombres y funciones de las partes

■ Panel frontal

Potenciómetro [Volume] ☞ p.73

Este potenciómetro permite conectar/desconectar el subwoofer y ajustar el volumen.



Potenciómetro [Bass] ☞ p.73

Este potenciómetro permite ajustar el volumen de reproducción de los graves del ELPSP01.

Indicador de encendido ☞ p.73

Este indicador verde se ilumina si el aparato está encendido.

■ Panel posterior

Terminal [Subwoofer Input] ☞ p.71

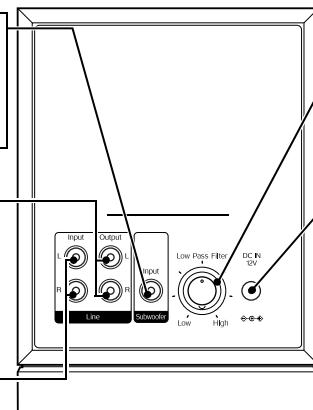
Este terminal sirve para conectar un proyector con audio/DVD integrado.

Terminales [Line Output]* ☞ p.72

Estos terminales permiten la salida de las señales en altavoces activos u otro equipamiento.

Terminales [Line Input]* ☞ p.72

Estos terminales permiten la entrada de señales desde un PC u otra fuente de sonido.



Potenciómetro [Low Pass Filter] ☞ p.73

Este potenciómetro permite ajustar el punto por encima del cual las frecuencias se cortan.

Terminal [DC IN 12V] ☞ p.71,72

Este terminal permite conectar el adaptador de CA.

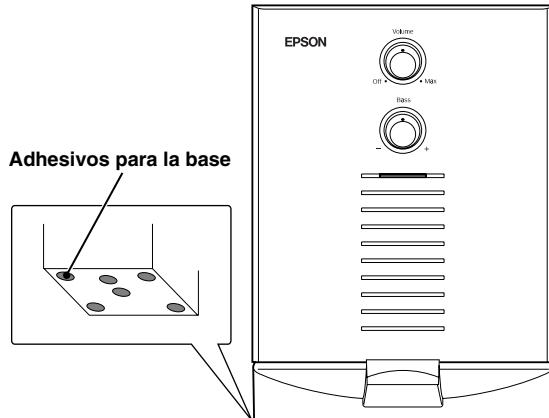
* Cuando se utiliza un proyector con audio/DVD integrado, la conexión a los terminales [Line Input] y [Line Output] no es necesaria.

Conexión del ELPSP01

■ Antes de efectuar las conexiones

Coloque los adhesivos de la base incluidos con el producto en los huecos circulares situados en la base del ELPSP01.

El uso de los adhesivos permitirá obtener graves de gran calidad, ya que evitan un contacto directo entre la base del ELPSP01 y la superficie de instalación y se elimina cualquier oscilación.



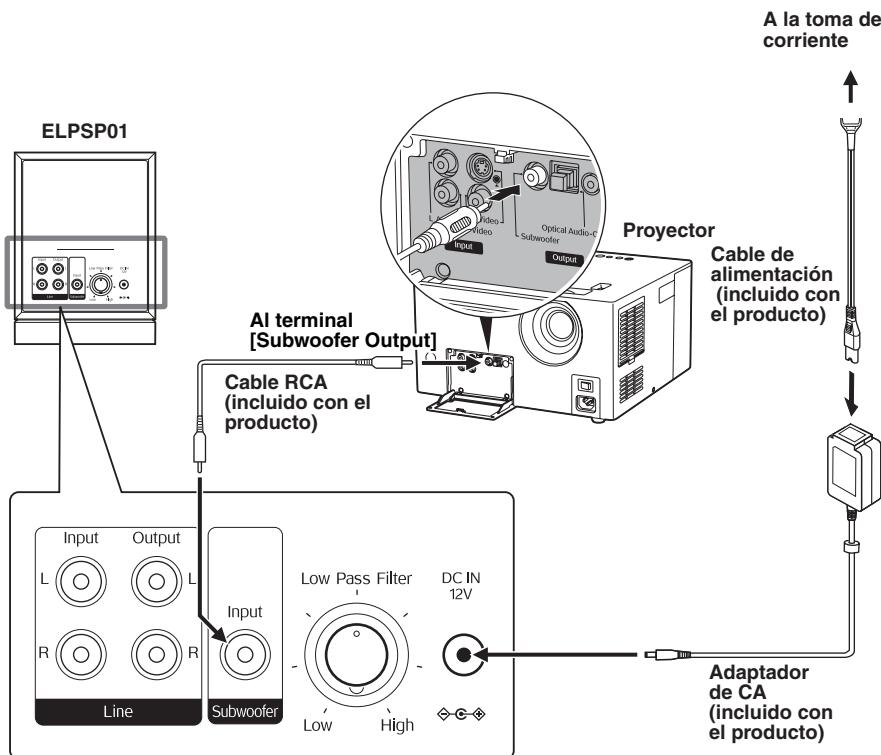
■ Métodos de conexión

Antes de conectar el cable de alimentación a la toma de corriente, deberá comprobarse lo siguiente:

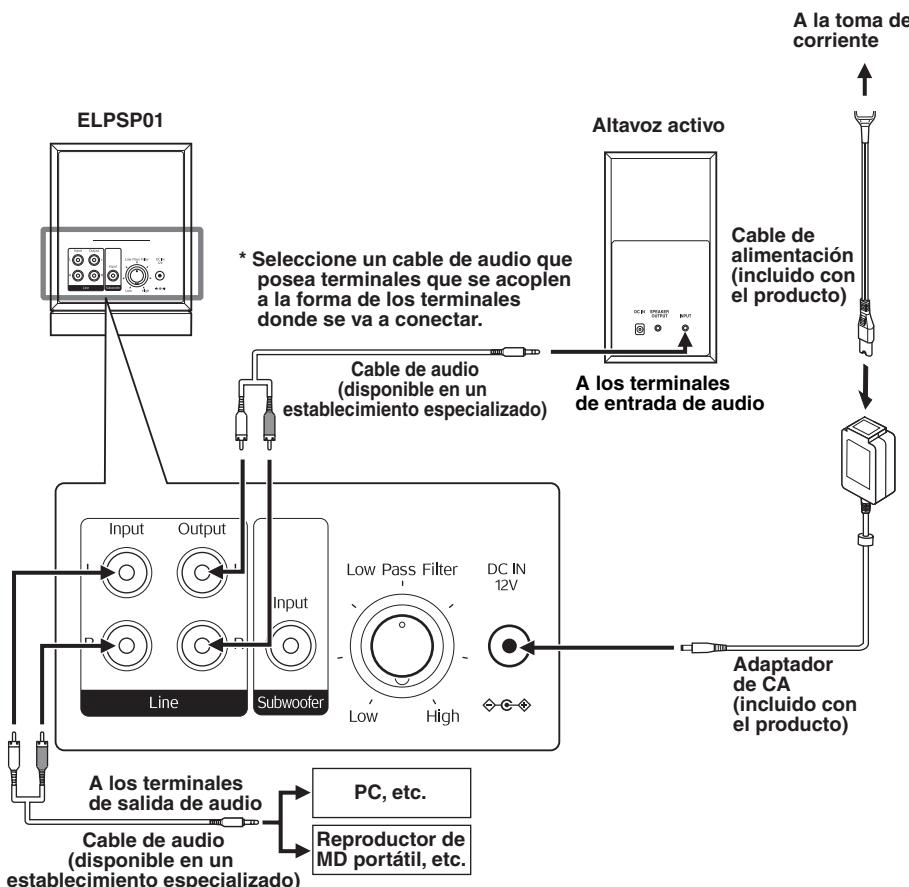
- Se han realizado todas las conexiones.
- El potenciómetro [Volume] se encuentra en la posición "Off" (apagado).
- El potenciómetro [Bass] se encuentra en la posición "-".

⚠ Advertencia

Utilice solamente el adaptador de CA y el cable de alimentación suministrados con el producto. No utilice otros adaptadores de CA ni cables de alimentación en el ELPSP01.



Conexión a un altavoz activo general

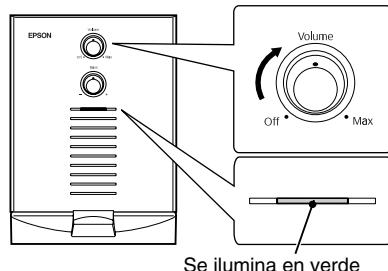


Consejo

- Si el potenciómetro [Volume] del panel frontal se gira a la derecha, se aumenta el volumen en el ELPSP01 y en el altavoz activo conectado.
- La intensidad de la salida difiere según el equipamiento al que está conectado el ELPSP01. Por este motivo, en ocasiones el volumen es muy bajo aunque el potenciómetro [Volume] del panel frontal esté ajustado al máximo. En este caso, aumente el volumen en el equipamiento (p. ej. reproductor de MD portátil) al que está conectado el ELPSP01, de manera que el ELPSP01 reciba la señal apropiada. Así pues, cuando conecte un PC como fuente de entrada, aumente el volumen de salida del PC para que el ELPSP01 reciba la señal apropiada.

Encendido del aparato

- 1 Una vez realizadas todas las conexiones, inserte el enchufe del cable de alimentación en la toma de corriente.
- 2 Cuando gire el potenciómetro [Volume] podrá escuchar un sonido de crepitación que indica que el aparato se ha encendido. El indicador de encendido verde situado en el panel frontal se ilumina cuando el aparato se enciende.

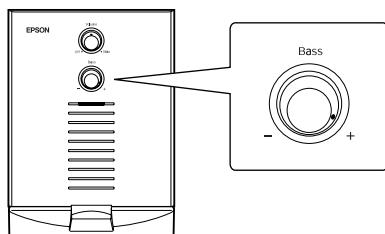


Se ilumina en verde

Ajuste del volumen de la gama de graves

Gire el potenciómetro [Bass] a una posición próxima a "+" según se muestra en la figura de la derecha. Se recomienda este ajuste, ya que le permitirá obtener los graves apropiados. No obstante, el nivel de volumen difiere dependiendo de la fuente de sonido que se reproduce. Si el ajuste no le satisface, puede ajustar el potenciómetro según sus preferencias.

*Cuando conecte el ELPSP01 a un altavoz activo general, ajuste el potenciómetro para que se adapte al altavoz.



Precaución

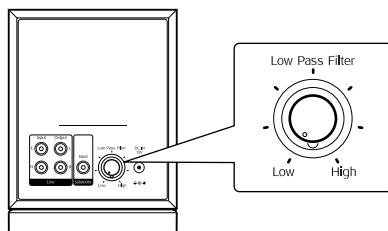
Si la gama de graves se amplifica demasiado, o si se reproduce una fuente de sonido especial con una gama de graves especialmente potente, puede que se generen sonidos anómalos además de las señales que genera el ELPSP01 de manera convencional. Esto no es un fallo. Sin embargo, se recomienda bajar el volumen ya que un funcionamiento prolongado en este estado podría dañar la unidad del altavoz.

Ajuste del filtro de paso bajo

El ajuste predeterminado del potenciómetro [Low Pass Filter] se muestra en la figura de la derecha.

Mantenga este ajuste, ya que ofrece una frecuencia de reproducción apropiada y tonos bien equilibrados.

*Cuando conecte el ELPSP01 a un altavoz activo general, ajuste el potenciómetro para que se adapte a la frecuencia de reproducción del altavoz.



Desconexión del aparato

- 1 Gire el potenciómetro [Bass] hacia la izquierda y ajústelo en la posición "-".**
- 2 Gire el potenciómetro [Volume] hacia la izquierda y ajústelo en la posición "OFF" (apagado).**

Hoja de verificación de problemas

Si el ELPSP01 presenta un problema, compruebe los puntos aquí contenidos antes de solicitar una reparación. Si no logra solucionar el problema, póngase en contacto con el establecimiento donde ha adquirido el producto o con el servicio técnico autorizado más cercano indicado en el Manual de instrucciones suministrado con el proyector.

Problema	Motivo	Medida
El aparato no se enciende.	El adaptador de CA o el cable de alimentación no se ha insertado completamente.	Desconecte el adaptador de CA o el cable de alimentación y vuelva a conectarlo correctamente. (☞ p.71,72)
El subwoofer no emite ningún sonido.	<ul style="list-style-type: none">El ELPSP01 no está encendido.El cable RCA o el cable de audio está desconectado.	<ul style="list-style-type: none">Gire el potenciómetro [Volume] para encender el ELPSP01. (☞ p.73)Desconecte el cable RCA o el cable de audio y vuelva a insertarlo completamente en el ELPSP01 o en el dispositivo conectado. (☞ p.71,72)
El sonido de salida del subwoofer es bajo.	<ul style="list-style-type: none">El potenciómetro [Volume] o [Bass] del ELPSP01 no está bien ajustado.La fuente de sonido no contiene una señal de graves.	<ul style="list-style-type: none">Ajuste el potenciómetro [Volume] o [Bass] del ELPSP01 en la posición adecuada. (☞ p.69)Reproduzca una fuente de sonido que contenga una señal de graves.
Se escucha un sonido retumbante o un zumbido.	<ul style="list-style-type: none">El cable RCA o el cable de audio no se ha insertado completamente.Flujo (interferencia inducida) procedente de una fuente externa (p. ej. televisor).	<ul style="list-style-type: none">Desconecte el cable y vuelva a insertarlo completamente en el ELPSP01 o en el dispositivo conectado.Separé el ELPSP01 de la fuente que provoca el ruido.
No hay salida de sonido en el altavoz activo conectado al ELPSP01.	Éstas son las causas probables relativas al altavoz activo conectado al ELPSP01: <ul style="list-style-type: none">El volumen está ajustado al mínimo.El cable RCA o el cable de audio está desconectado.	<ul style="list-style-type: none">Aumente el volumen al nivel apropiado. (☞ p.69)Conecte correctamente el cable RCA o el cable de audio. (☞ p.71,72)
La salida de sonido en el altavoz activo conectado al ELPSP01 es baja.	Ésta es la causa probable relativa al altavoz activo conectado al ELPSP01: <ul style="list-style-type: none">El volumen no está ajustado a la posición apropiada.	<ul style="list-style-type: none">Aumente el volumen al nivel apropiado. (☞ p.69)

Especificaciones

Modelo:	Subwoofer alimentado
Rango de frecuencia de reproducción:	de 40 a 350 Hz
Frecuencia de cruce:	de 90 a 170 Hz (variable)
Salida máxima:	15 W (4 Ω)
Impedancia de entrada:	10 kΩ o más (Subwoofer) 18 kΩ o más (LINE)
Sensibilidad de entrada (con volumen máx.):	40 mV (Subwoofer) 40 mV (en la entrada LINE L/R) 80 mV (en la entrada de canal único LINE)
Altavoz:	10 cm woofer x 1 unidad
Alimentación:	de 100 a 240 V de CA (50/60 Hz)
Consumo de potencia:	17,5 W
Rango de temperatura de funcionamiento:	de 5 a 35 °C (de 41 a 95 °F) (sin condensación)
Rango de temperatura de almacenamiento:	de -10 a 60 °C (de 14 a 140 °F) (sin condensación)
Dimensiones externas (An x Al x Pr):	124 x 170 x 224 (mm)
Peso:	2 kg

*Los valores nominales y el aspecto externo están sujetos a cambios sin previo aviso con la finalidad de mejorar el producto.

Servicio técnico

Si tiene alguna duda, póngase en contacto con el personal de servicio técnico indicado en el Manual de instrucciones suministrado con el proyector.

■ Antes de solicitar una reparación

Si el aparato presenta algún problema, consulte la "Hoja de verificación de problemas" incluida en el Manual de instrucciones y compruebe las conexiones y los ajustes para intentar solucionarlo.

Si no logra solucionar el problema, siga los pasos descritos a continuación y solicite una reparación.

No intente reparar el aparato usted mismo. Puede resultar peligroso.

(1) Apague el aparato.

(2) Desconecte el enchufe del cable de alimentación de la toma de corriente y el terminal de conexión del adaptador de CA del aparato.

Todos los derechos reservados. Ninguna parte de esta publicación podrá ser reproducida, almacenada en un sistema de recuperación ni transmitida en forma alguna ni por ningún medio electrónico, mecánico, de fotocopiado, de grabación o cualquier otro, sin el previo consentimiento por escrito de SEIKO EPSON CORPORATION. No se asume ninguna responsabilidad de patentes con respecto al uso de la información contenida en este documento. Tampoco se asume ninguna responsabilidad con respecto a los daños resultantes del uso de la información contenida en este documento.

Ni SEIKO EPSON CORPORATION ni sus filiales se responsabilizarán ante el comprador del producto o ante terceras personas de las pérdidas, costes o gastos derivados de accidentes, usos incorrectos o no previstos, modificaciones no autorizadas, reparaciones o alteraciones del producto por parte del comprador o de terceros o derivados (excepto en Estados Unidos) del incumplimiento de las instrucciones de uso y mantenimiento facilitadas por SEIKO EPSON CORPORATION.

SEIKO EPSON CORPORATION no se responsabiliza de los daños o problemas derivados del uso de opciones o consumibles que no sean productos originales EPSON u homologados por SEIKO EPSON CORPORATION.

Safety
UL60950-1
CSA C22.2 No. 60950-1-03
IEC60950-1

EMC
USA
FCC Part 15B Class B
Canada
IECS-003 Class B
European Community
EN55013(2001), A1(2003)
EN55020(2002), A1(2003)
EN55022(1994), A1(1995), A2(1997), Class B
EN55024(1998), A1(2001), A2(2003)
EN61000-3-2(2000)
EN61000-3-3(1995), A1(2001)
EN61000-4-2(1995), A1(1998), A2(2001)
EN61000-4-3(2002), A1(2002)
EN61000-4-4(2004)

DECLARATION of CONFORMITY
According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We : EPSON AMERICA, INC.
Located at : 3840 Kilroy Airport Way
MS : 3-13
 Long Beach, CA 90806
Tel : 562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name : EPSON
Type of Product : Powered Subwoofer
Model : ELPSP01

FCC Compliance Statement
For United States Users

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

MEMO

MEMO

ELPSP01

EPSON®

Printed in Malaysia
410328900